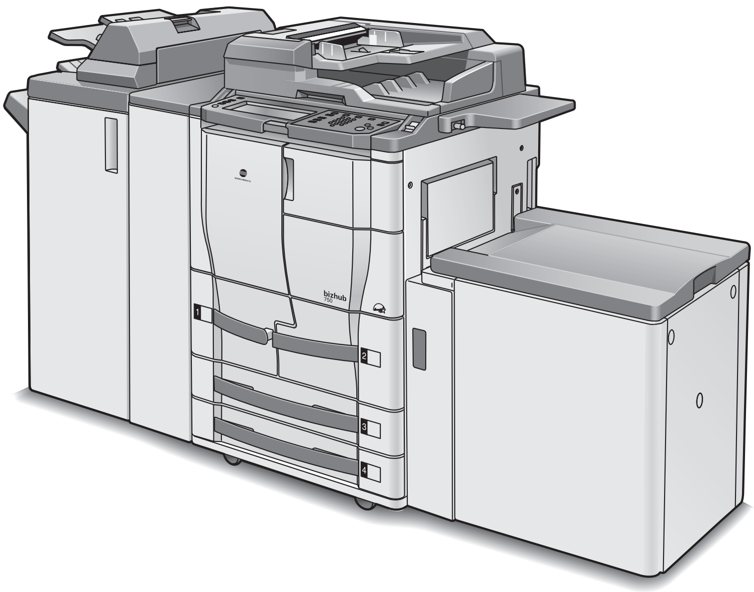
KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub 750/600

ユーザーズガイド　拡大表示機能編



本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店
もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものと
お取替えいたします。

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このユーザーズガイド［拡大表示機能編］は bizhub 750/600 の拡大表示機能の操作方法、使用上の注意などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくため、必ずご使用の前にこのユーザーズガイド［拡大表示機能編］を最後までお読みください。
このユーザーズガイド［拡大表示機能編］は、ご使用中にわからないことや不都合が生じたときにいつでもお読みになれるよう、本機のユーザーズガイドホルダに入れて保管してください。
このユーザーズガイド［拡大表示機能編］内で使用しているイラストなどは、実際の製品と異なる場合があります。

■ ユーザーズガイド内のマークについて

⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害のみを負う可能性が想定される内容を示しています。 安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

必ず守ってください

- 操作上の注意事項です。指示内容をよく読んで、必ず行ってください。

詳しく説明します

- 操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。

参照

参照先を指示します。必要に応じてごらんください。

［　　　］　タッチパネル上のキー名称を示します。
【　　　】　操作パネル（タッチパネルを除く）のキー名称、電源スイッチなどを示します。

マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイド（印刷物）が用意されています。

■ ユーザーズガイド（コピー機能編）

基本操作、コピー機能の操作について記載しています。
また、日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズ設定したり、機械を管理する方法を記載しています。

■ ユーザーズガイド（ネットワーク／スキャナ機能編）

標準装備のネットワーク機能の設定方法、スキャナ機能の操作について記載しています。

■ ユーザーズガイド（ボックス機能編）

ボックス機能の操作について記載しています。

■ ユーザーズガイド（拡大表示機能編）＜本書＞

コピー機能、ネットワーク／スキャナ機能、ファクシミリ機能の操作を拡大表示画面で行う方法について記載しています。

■ ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）

オプションのファクスキット FK-502 が装着されて使用できるファクシミリ機能の操作について記載しています。

■ ユーザーズガイド（ネットワークファクス機能編）

ネットワークファクスの操作について記載しています。

また、本機には次のユーザーズガイド（PDF）／クイックガイドが用意されています。

■ IC-202 ユーザーズガイド／クイックガイド

オプションのイメージコントローラ IC-202 が装着されて使用できるプリンタ機能の操作について記載します。

もくじ

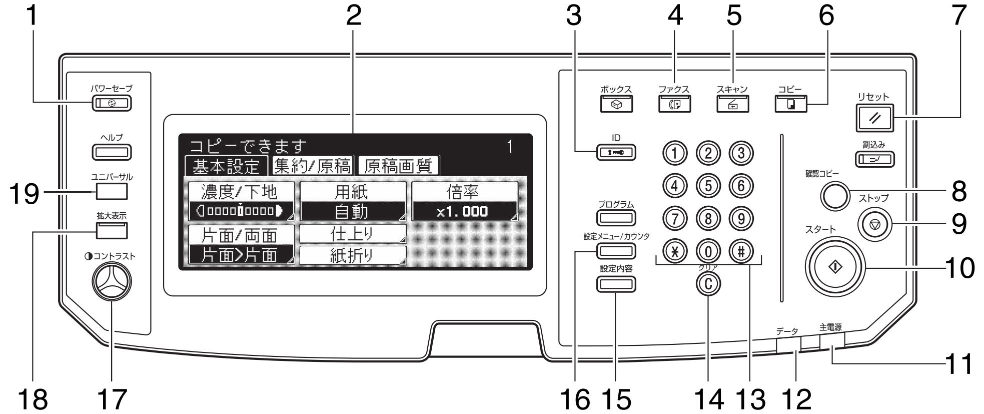
第 1 章
ご使用いただく前に

コピーをとる前に知っておきたいことがらについて説明します。

1.1 操作パネル部の名称とはたらき

参照

ユーザーズガイド［コピー機能編］、［ネットワーク／スキャナ機能編］、［ファクシミリ機能編］、［ネットワークファクス機能編］もごらんください。

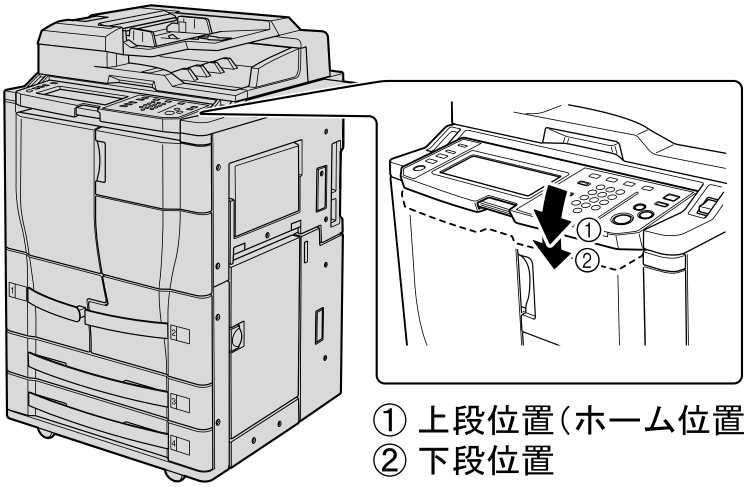


No	名称	機能
1	【パワーセーブ】キー	パワーセーブ機能に切換わります。パワーセーブ機能中は【パワーセーブ】が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に【パワーセーブ】を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
2	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
3	【ID】キー	ユーザ認証および部門管理を設定している場合、ユーザ名とパスワード（ユーザ認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
4	【ファクス】キー	ファクス機能に切換わります。ファクス機能中は【ファクス】が緑色に点灯します。
5	【スキャン】キー	スキャン機能に切換わります。スキャン機能中は【スキャン】が緑色に点灯します。
6	【コピー】キー	コピー機能に切換わります。（初期設定では、標準サイズのコピー機能が選択されています。）コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。

No	名称	機能
7	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）がリセットされます。
8	【確認コピー】キー	複数部数のコピーを行うとき、先に 1 部だけプリントして仕上りを確認できます。（p. 5-12）
9	【ストップ】キー	処理中に【ストップ】を押すと、処理が一時停止します。
10	【スタート】キー	処理を開始します。本機が処理を開始できる状態のときは【スタート】が緑色に点灯します。 【スタート】がオレンジ色に点灯しているときは処理を開始できません。 一時停止中のジョブが再開します。
11	主電源ランプ	【主電源スイッチ】が ON のときに緑色に点灯します。
12	データランプ	プリントジョブを受信中は、緑色に点滅します。 プリントジョブがプリント待ち、およびプリント中は、緑色に点灯します。
13	テンキー	部数を設定します。 倍率を入力します。 各種設定値を入力します。
14	【クリア】キー	テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）が取消されます。
15	【設定内容】キー	各設定の確認画面に切換わります。
16	【設定メニュー / カウンタ】キー	設定メニュー画面、セールスカウンタ画面に切換わります。
17	コントラスト調整ダイアル	タッチパネルのコントラストを調整します。
18	【拡大表示】キー	【コピー】、【スキャン】、【ファクス】のいずれかが緑色に点灯している状態でこのキーを押すと拡大表示画面に切換わります。
19	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル設定画面に切換わります。

1.2　操作パネルの角度をかえる

本機の操作パネルは、操作面の角度を 2 段階に設定できます。使いやすい角度を選んでご使用ください。



① 上段位置（ホーム位置）
② 下段位置

■ 操作パネルの角度のかえかた

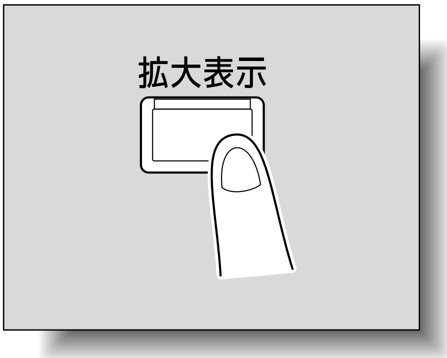
1 操作パネル解除レバーを押し、操作パネルを上下させます。



■ 拡大表示機能の画面を表示するには

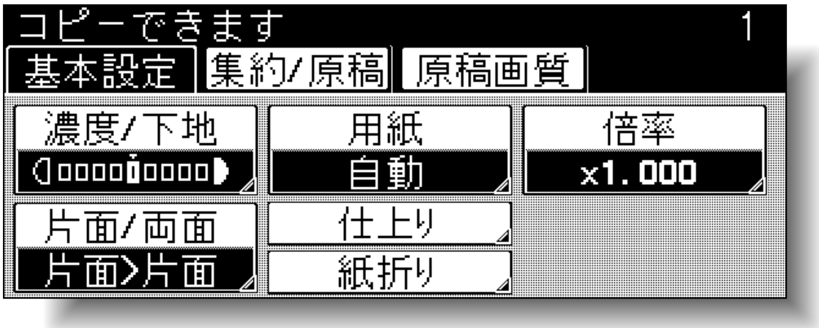
1. 操作パネルの【コピー】、【ファクス】、【スキャナ】のいずれかを押し、目的の画面を表示させます。

2. 操作パネルの【拡大表示】を押します。



❍ ユニバーサル設定の内容によって、各設定が初期値にもどる確認画面が表示されます。ユニバーサル設定については、ユーザーズガイド［コピー機能編］をごらんください。

タッチパネルの表示が拡大表示機能の画面に切換わります。



❍ 拡大表示機能中に【コピー】、【ファクス】、【スキャナ】のいずれかを押すと、画面を切換えることが出来ます。

❍ 拡大表示機能中に操作パネルの【拡大表示】を押すと、標準サイズの画面にもどります。ユニバーサル設定の内容によって、各設定が初期値にもどる確認画面が表示されます。

1.4　タッチパネルについて

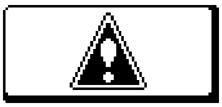
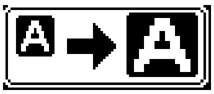
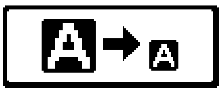
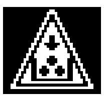
■ タッチパネルの操作

タッチパネルに表示されたキーを指で軽くタッチして、表示されている機能を選択します。

必ず守ってください

- タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

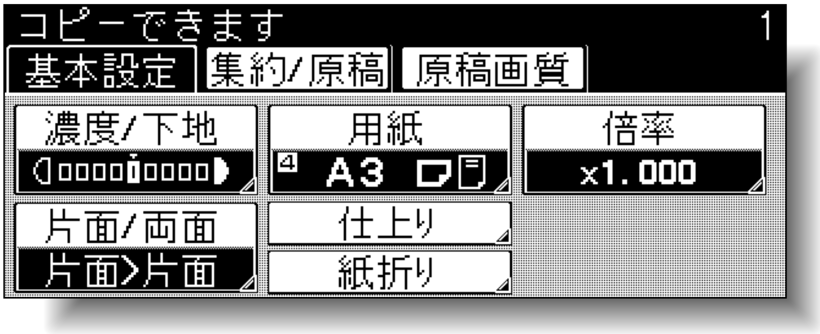
■ 画面内で表示されるアイコンについて

アイコン	説明
	プリントエラーに関するメッセージがあるときに表示されます。キーを押してメッセージを確認し、エラーの処理を行ってください。
	キーを押すと、表示されているメッセージが拡大表示機能のメッセージに切換わります。
	キーを押すと、拡大表示機能のメッセージから標準サイズのメッセージに切換わります。
	トナーがなくなったときに表示され、コピーやファクスの受信などができなくなります。トナーを交換してください。

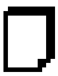
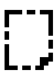
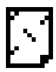
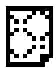
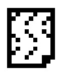
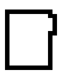
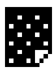
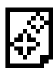
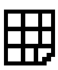
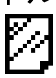
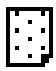
■ 用紙種類の表示

参照
ユーザーズガイド［コピー機能編］もごらんください。

コピー機能使用時に、選択したトレイに普通紙以外の種類の用紙が設定されている場合、基本設定画面の［用紙］に用紙種類を表すアイコンが表示されます。

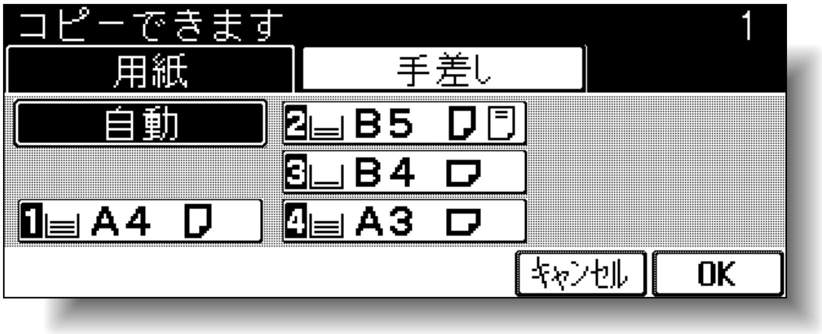


表示されるアイコンと用紙種類

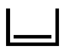
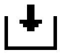
厚紙	薄紙	ユーザ紙 1	ユーザ紙 2	ユーザ紙 3
				
インデックス紙	再生紙	色紙	特殊紙	上質紙
				
ラベル紙	レターヘッド紙	OHP フィルム	第 2 原紙	
				

■ 用紙残量の表示

コピー機能使用時の用紙サイズを選択する画面に、用紙の残量が表示されます。用紙サイズを選択する画面の表示方法については、「用紙を選ぶ」（p. 2-8）をごらんください。



表示されるアイコンと用紙残量

アイコン	説明
	給紙トレイの用紙残量が 100% から 75% であることを示します。
	給紙トレイの用紙残量が 75% から 50% であることを示します。
	給紙トレイの用紙残量が 50% から 25% であることを示します。
	給紙トレイの用紙残量が 25% 以下であることを示します。
	給紙トレイの用紙残量が 0 枚であることを示します。

参照

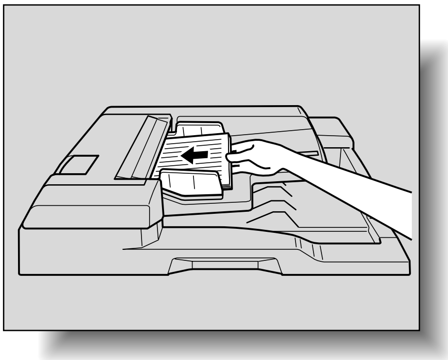
ユーザーズガイド［コピー機能編］、［ファクシミリ機能編］、［ネットワークファクス機能編］もごらんください。

原稿のセット方法には以下の種類があります。原稿の種類に合わせて最適な原稿セットを行ってください。

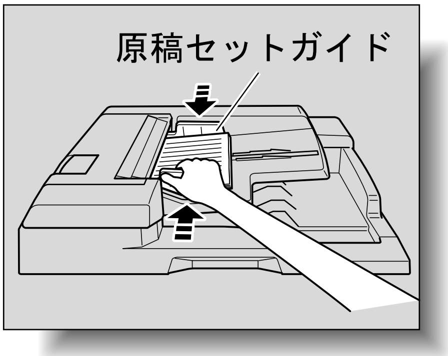
- ADF にセットする
- 原稿ガラス上にセットする

■ ADF に原稿をセットする

1 原稿の読込みたい面（1 ページ目）を上向きにし、ADF へセットします。



2 原稿セットガイドを原稿に沿わせます。

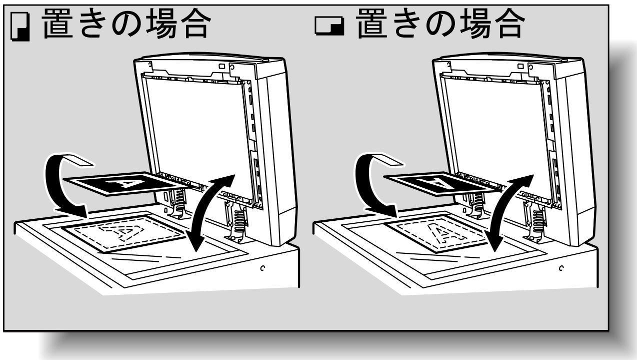


■ 原稿ガラス上に原稿をセットする

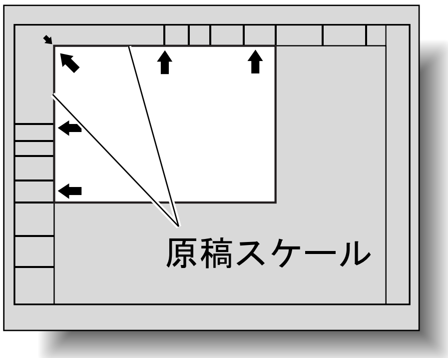
1 ADF を開きます。

2 原稿の読込みたい面を下側に向け、原稿ガラス上へ置きます。

❍ 原稿の天部（上側）が奥側、または左側になるようにします。



3 原稿スケール左奥側の ➘ マークに合わせて原稿をセットします。



4 ADF を閉じます。

参照

ユーザーズガイド［コピー機能編］もごらんください。

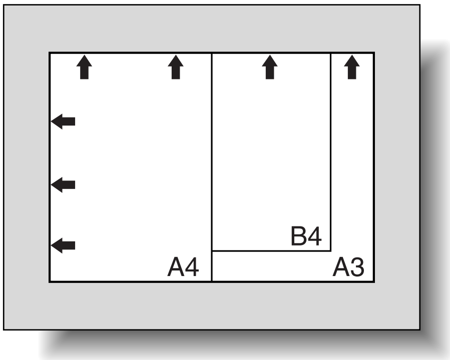
ここではコピー機能使用時に、コピーをとる原稿の設定をする方法を説明します。

スキャナ機能使用時の原稿の設定については、「原稿設定」（p. 3-22）をごらんください。

■ サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）

サイズの異なる原稿を一度にセットし、自動的に 1 枚ずつ送り出し、読込みます。

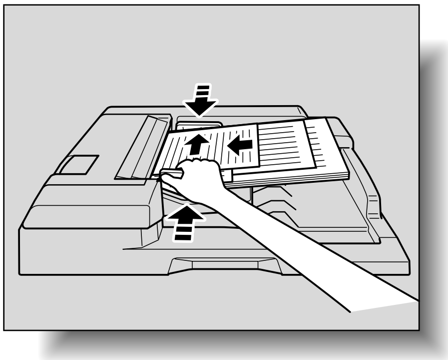
1 原稿を図のようにコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにして揃えます。



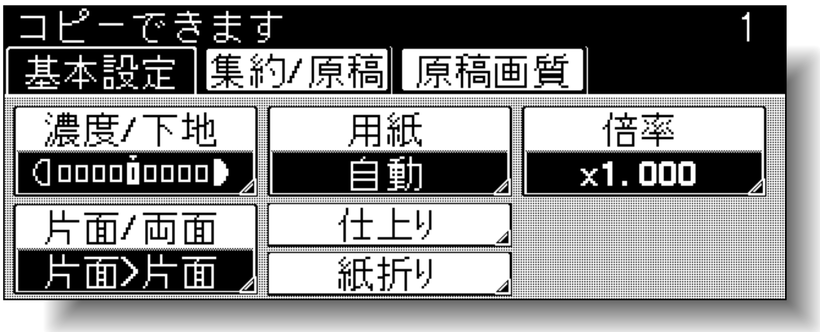
2 原稿のコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにし、ADF へセットします。

❍ 原稿セットガイドを原稿に沿わせます。

❍ 原稿は、ADF に対して左側と奥側を基準にしてセットします。



3 基本設定画面の［集約 / 原稿］を押します。



集約 / 原稿画面が表示されます。

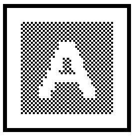
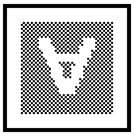
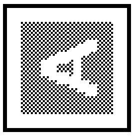
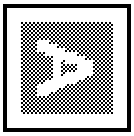
4 ［混載原稿］を押します。



❍ 混載原稿機能を解除するときは、再度［混載原稿］を押します。

■ 原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）

両面原稿からのコピー、両面コピーや集約コピーなどを使用する場合、原稿のセット方向を設定してください。原稿のセット方向を設定しないと、ページ順やオモテ面とウラ面の配置が正しくコピーできないことがあります。

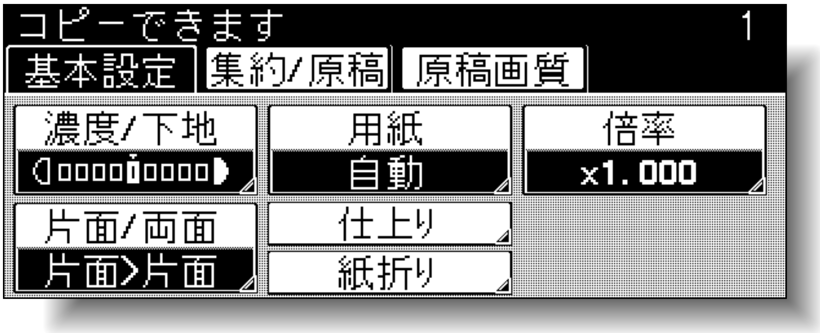
項目	説明
	原稿の天部（上側）を奥側にしてセットした場合に選択します。
	原稿の天部（上側）を手前側にしてセットした場合に選択します。
	ADF に原稿の天部（上側）を左側にしてセットした場合に選択します。 原稿ガラス上に原稿の天部（上側）を右側にセットした場合に選択します。
	ADF に原稿の天部（上側）を右側にセットした場合に選択します。 原稿ガラス上に原稿の天部（上側）を左側にセットした場合に選択します。

1 原稿をセットします。

❍ 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 1-9）をごらんください。

2

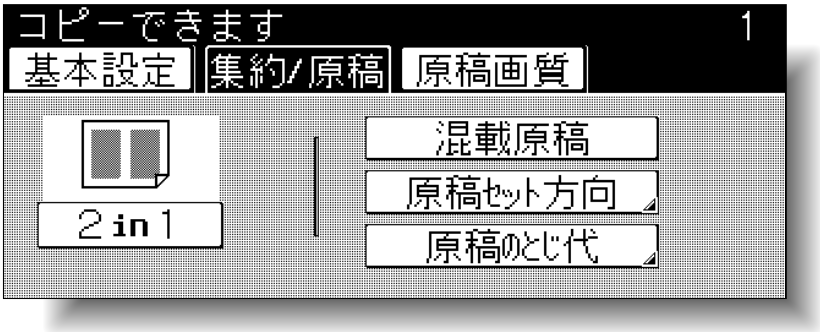
基本設定画面の［集約 / 原稿］を押します。



集約 / 原稿画面が表示されます。

3

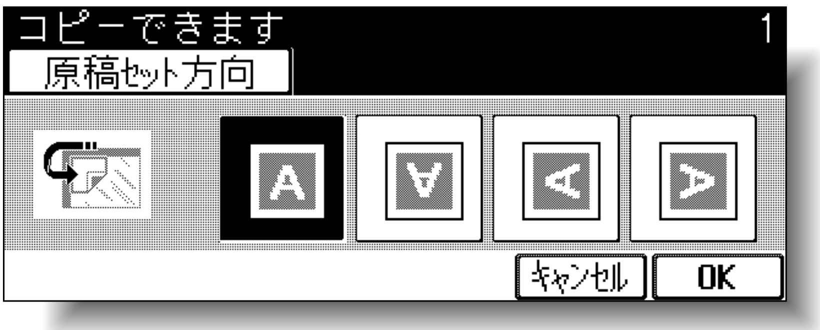
［原稿セット方向］を押します。



原稿セット方向画面が表示されます。

4

セットした原稿の方向に合わせて、目的のキーを押し、［OK ］を押します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ とじ代を設定する（原稿のとじ代）

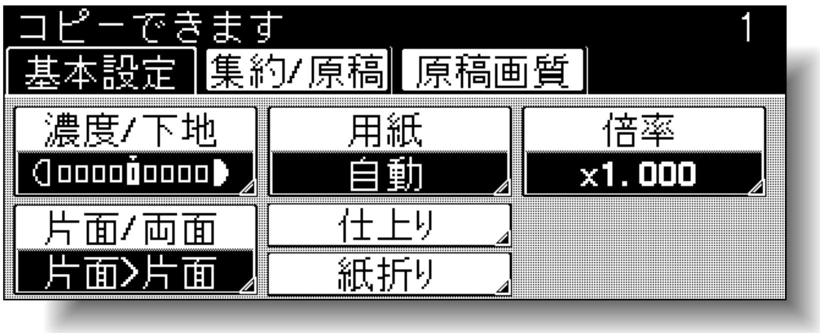
ADF に両面原稿をセットする場合、原稿のとじ代位置を設定することで、原稿ウラ面の天部（上側）を指定します。

項目	説明
左	原稿の左側にとじ代のある原稿をセットした場合に選択します。
上	原稿の上側にとじ代のある原稿をセットした場合に選択します。
右	原稿の右側にとじ代のある原稿をセットした場合に選択します。
自動	原稿のとじ代が自動で選択されます。 原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじ代が設定されます。 原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじ代が設定されます。

1. 原稿をセットします。

   ❍ 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 1-9）をごらんください。

2. 基本設定画面の［集約 / 原稿］を押します。



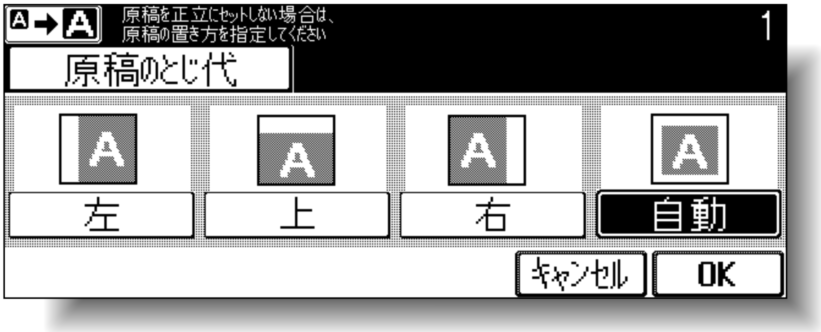
集約 / 原稿画面が表示されます。

3 ［原稿のとじ代］を押します。



原稿のとじ代画面が表示されます。

4 原稿のとじ代を設定し、［OK ］を押します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

第 2 章
コピー機能の使い方

基本的なコピーのとりかたについて説明します。

参照
コピー操作については、ユーザーズガイド［コピー機能編］もごらんください。

コピーをとるときの操作の流れを説明します。

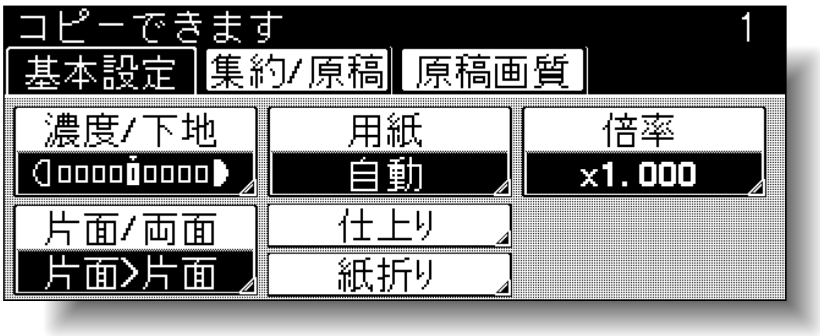
1 操作パネルの【コピー】を押し、【拡大表示】を押します。

コピー機能の拡大表示画面が表示されます。

2 原稿をセットします。

❍ 原稿のセット方法については、(p. 1-9 ）をごらんください。

3 必要に応じて各機能の設定をします。



❍ 原稿の設定については、(p. 1-11）をごらんください。

❍ コピー濃度の設定については、(p. 2-4）をごらんください。

❍ 用紙サイズの設定については、(p. 2-8）をごらんください。

❍ 倍率の設定については、(p. 2-12）をごらんください。

❍ 原稿とコピー機能の設定については、(p. 2-14）をごらんください。

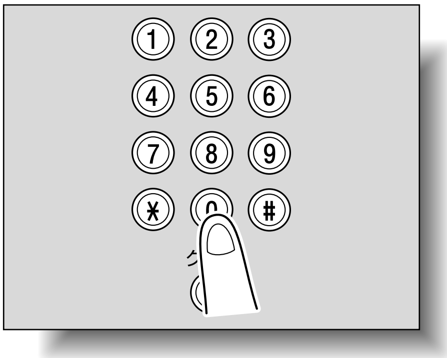
❍ 原稿の画質については、(p. 2-16）をごらんください。

❍ 集約コピーの設定については、（p. 2-18）をごらんください。

❍ コピーの仕上がりについては、（p. 2-19）をごらんください。

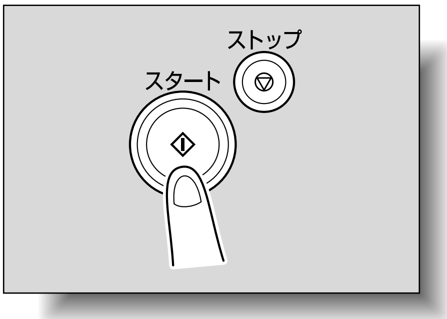
❍ 紙折りの設定については、（p. 2-22）をごらんください。

4 テンキーでコピー部数を入力します。



❍ コピー部数を間違えて入力した場合、【クリア】を押してもう 1 度入力しなおしてください。

5 【スタート】を押します。



2.2　濃度を選ぶ

現在のプリント結果よりも濃く、または薄くプリントしたいときは、濃度を調整します。

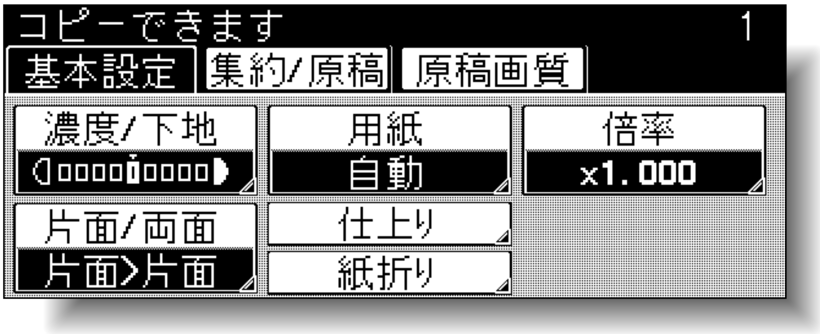
濃度調整には以下の種類があります。

項目	説明
濃度	プリント画像濃度を 9 段階で調整できます。
下地調整	下地色付原稿の下地色の濃度を 9 段階で調整できます。

ここでは、濃度の設定のしかたについて説明します。

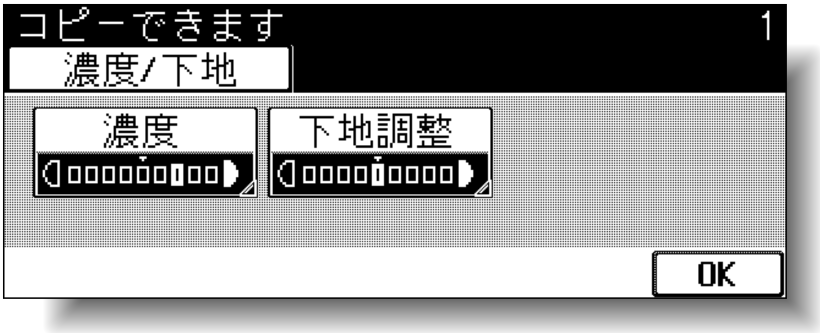
■ プリント濃度を調整する（濃度）

1 基本設定画面の［濃度 / 下地］を押します。



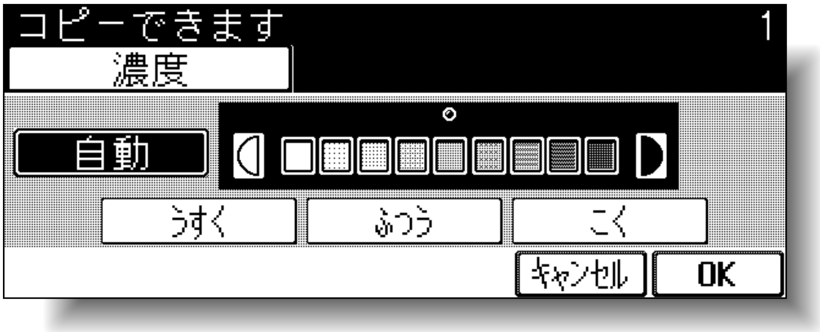
濃度 / 下地画面が表示されます。

2 [濃度] を押します。



濃度調整画面が表示されます。

3 目的の濃度に調整します。

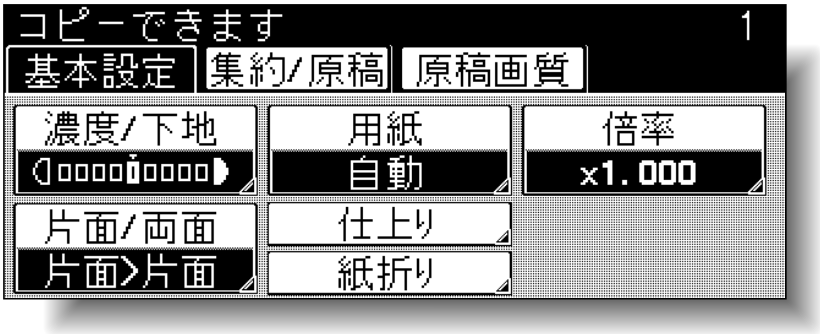


- [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- [ふつう] を押すと、中央（標準値）にもどります。
- [自動] を押すと最適な濃度を自動的に判断し、最適な濃度でプリントします。
- [キャンセル] を押すと設定は変更されません。

4 [OK] を 2 回押します。

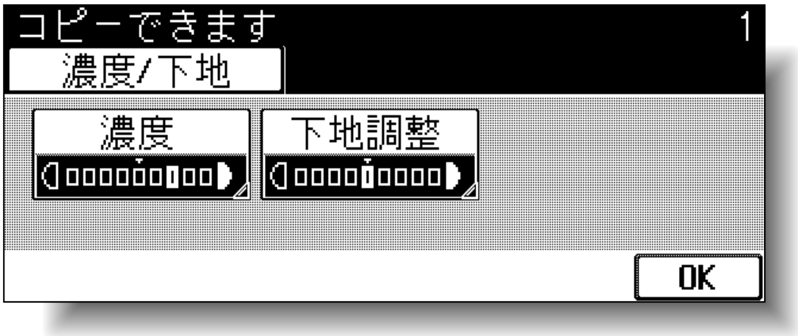
■ 下地濃度を調整する（下地調整）

1 基本設定画面の［濃度 / 下地］を押します。



濃度 / 下地画面が表示されます。

2 ［下地調整］を押します。



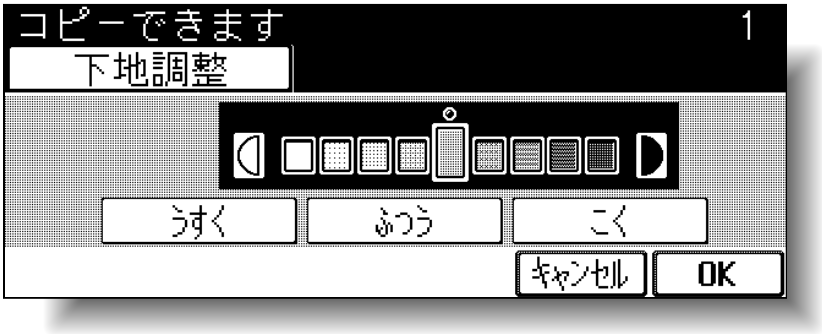
下地調整画面が表示されます。

詳しく説明します

- 濃度を［自動］に設定している場合、下地濃度を調整することができません。

---

3 目的の下地濃度に調整します。



- [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- [ふつう] を押すと、中央（標準値）にもどります。
- [キャンセル] を押すと設定は変更されません。

4 [OK] を 2 回押します。

用紙サイズの選択には、原稿のサイズに合わせて自動で選択する方法と、手動で用紙を指定する方法があります。目的のコピー条件に応じ、いずれかの手順にしたがって設定します。

■ 自動的に用紙を選択させる（自動用紙）

セットされた原稿サイズを検知し、同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が等倍に設定されている場合は、原稿サイズと同じサイズの用紙を選択してコピーします。

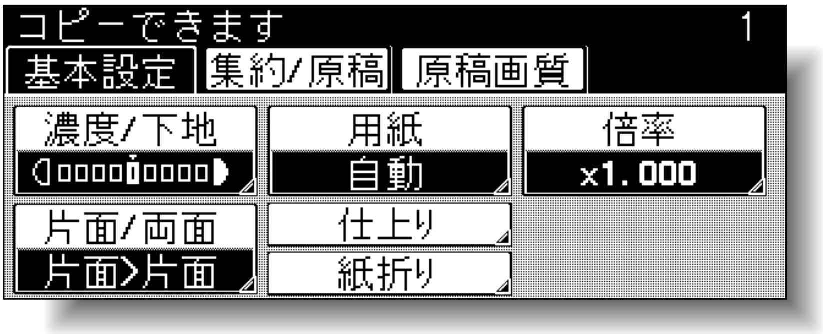
倍率が、拡大または縮小に設定されている場合は、設定されている倍率に対応したサイズの用紙を自動的に選択してコピーします。

詳しく説明します

- 自動倍率と自動用紙は、同時に設定できません。
  自動倍率が設定されている場合は、倍率設定画面が表示されます。
  倍率設定画面で、目的の倍率を設定してください。

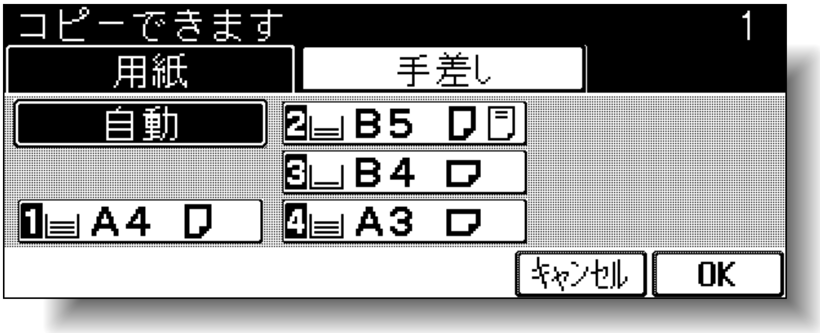
---

1 基本設定画面の［用紙］を押します。



用紙画面が表示されます。

2 ［自動］を押します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

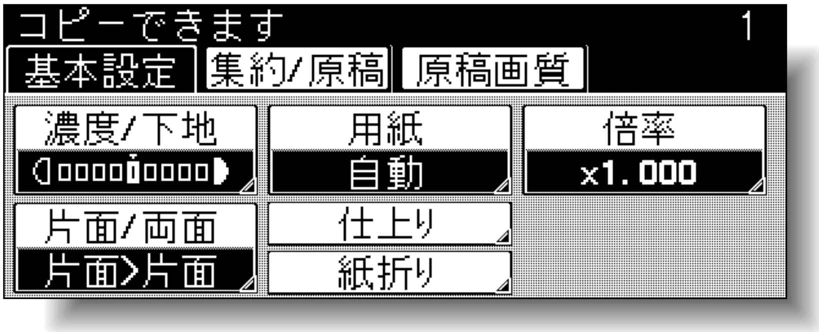
3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

■ 手動で目的の用紙を指定する

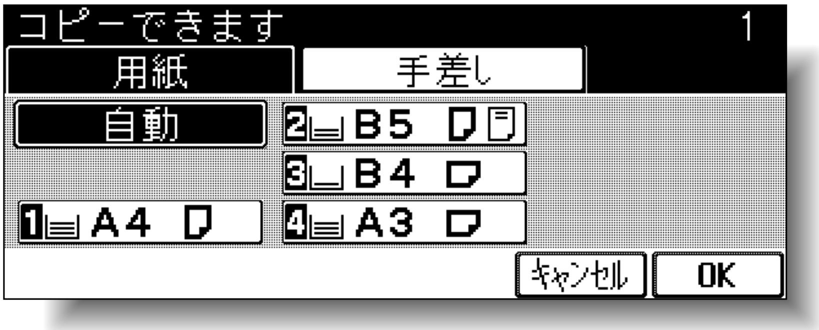
目的のサイズの用紙がセットされている給紙トレイを手動で選択します。自動倍率と組合わせて設定することで、原稿サイズと用紙サイズに合った最適なコピー倍率が設定されます。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。



用紙画面が表示されます。

2 目的のサイズの用紙がセットされている給紙トレイを選択します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

詳しく説明します

- 手差しトレイの用紙を選択する場合は［手差し］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

2.4 倍率を選ぶ

原稿と異なるサイズの用紙にコピーするときや、画像のサイズを変えてコピーするときに倍率を設定できます。

倍率の設定方法には以下の種類があります。

項目	説明
自動 *1	原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。
等倍	原稿の画像を原寸（等倍）でコピーします。
拡大	よく使用する定形サイズの原稿から定形サイズの用紙にコピーする場合の最適な拡大倍率があらかじめ設定されています。
縮小 *2	よく使用する定形サイズの原稿から定形サイズの用紙にコピーする場合の最適な縮小倍率があらかじめ設定されています。
登録呼出し *2*3	登録されているコピー倍率を呼出し設定します。
ズーム	テンキーを使用して、縦と横の比率を変えずに×0.250 ～ ×4.000 の間でコピー倍率を直接入力できます。

*1 自動倍率と自動用紙は、同時に設定できません。
自動用紙が設定されているときに選択すると、用紙選択画面が表示されます。用紙選択画面で、目的の用紙を選択してください。

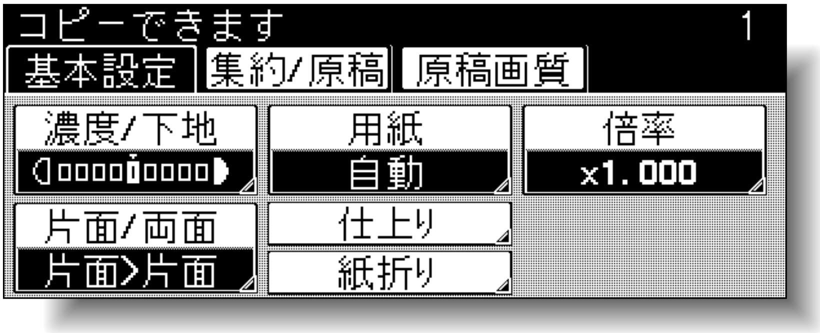
*2 縮小、登録呼出しでは、［小さめ］を選択することが出来ます。［小さめ］は、原稿の画像をわずかに縮小（×0.930）してコピーします。小さめコピーの倍率は、目的の倍率（×0.900 ～ ×0.999）に変更し、登録できます。詳しくは、ユーザーズガイド［コピー機能編］をごらんください。

*3 登録倍率には、目的の倍率を登録することができます。詳しくは、ユーザーズガイド［コピー機能編］をごらんください。

ここでは、倍率の設定のしかたについて説明します。

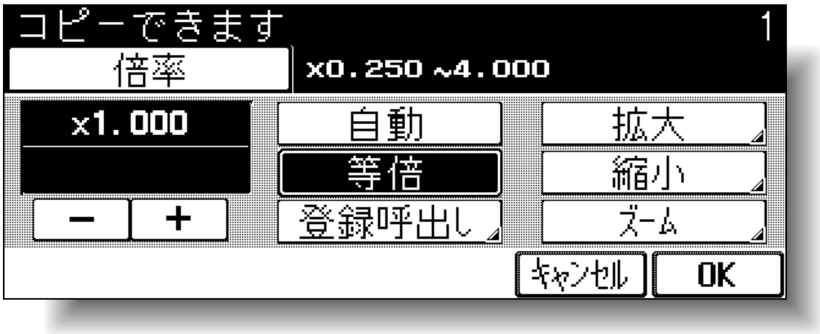
■ 倍率の選択のしかた

1 基本設定画面の［倍率］を押します。



倍率画面が表示されます。

2 目的の倍率を選択します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

詳しく説明します

- 拡大、縮小、登録呼出しのいずれかを選択した場合、目的の倍率を選択し、［OK］を押します。
- ズームを選択した場合、テンキーで目的の倍率を入力し、［OK］を押します。
- ［+］を押すと拡大側へ、［–］を押すと縮小側へ ×0.001 単位で倍率を設定できます。

---

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

2.5 原稿とコピー機能を選ぶ

原稿とコピー機能の設定をします。

原稿とコピー機能には以下の設定があります。

項目	説明
片面＞片面	片面原稿を用紙の片面にコピーします。
片面＞両面	2 枚の片面原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーします。
両面＞片面 *1	両面原稿を 2 枚の用紙の片面にコピーします。
両面＞両面 *1	両面原稿を用紙の両面にコピーします。

*1 ［両面＞片面］または［両面＞両面］を選択した場合、原稿のとじ代位置および原稿セット方向を設定してください。原稿のとじ代位置および原稿セット方向を設定していない場合、目的のコピーにならないことがあります。
原稿のとじ代については、「とじ代を設定する（原稿のとじ代）」（p. 1-16）をごらんください。
原稿セット方向については、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 1-14）をごらんください。

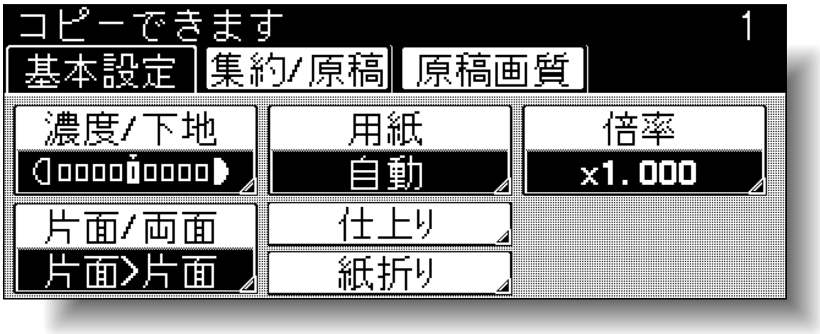
詳しく説明します

- 原稿ガラス上に原稿をセットして、［片面＞両面］、［両面＞片面］、［両面＞両面］のいずれかの設定をした場合、読込んだ原稿を蓄積して、一度に排紙します。

ここでは、原稿とコピー機能の設定のしかたについて説明します。

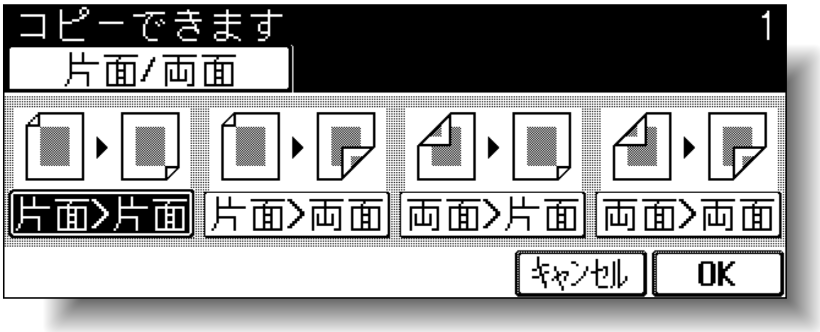
■ 片面コピーまたは両面コピーを選択する

1 基本設定画面の［片面 / 両面］を押します。



片面 / 両面画面が表示されます。

2 目的の設定を選択します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

3［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

原稿の画質の設定をします。

原稿画質には以下の種類があります。

項目	説明
文字	文字だけで構成されている原稿です。
文字 / 写真	文字と写真（ハーフトーン）が混じっている原稿です。
写真	写真（ハーフトーン）だけの原稿です。
薄文字	文字が全体的に薄い原稿です。

ここでは、原稿画質の設定のしかたについて説明します。

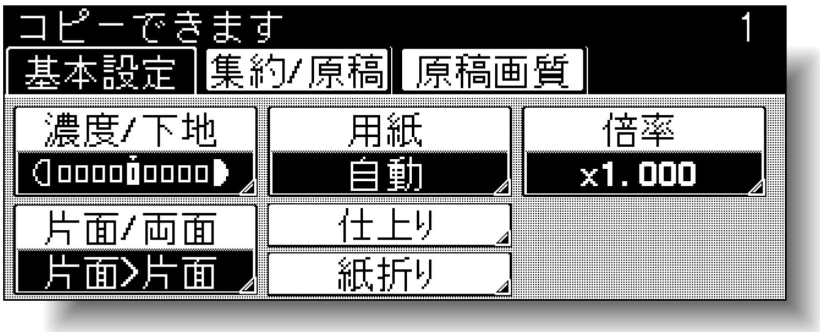
■ 原稿画質の設定のしかた

原稿の画像タイプに合わせて機能を選択し、よりよいコピー画質に調整します。

1 原稿をセットします。

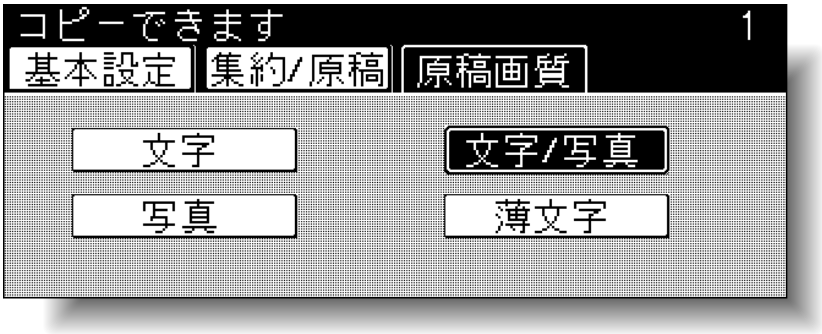
❍ 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 1-9）をごらんください。

2 基本設定画面の［原稿画質］を押します。



原稿画質画面が表示されます。

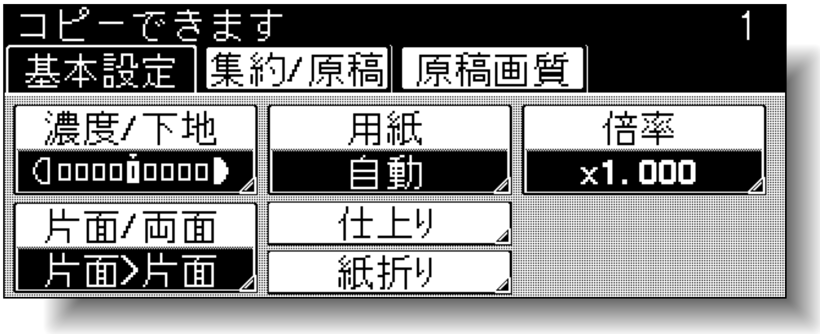
3 セットした原稿に合った画質を選択します。



2 枚の原稿画像を、1 枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

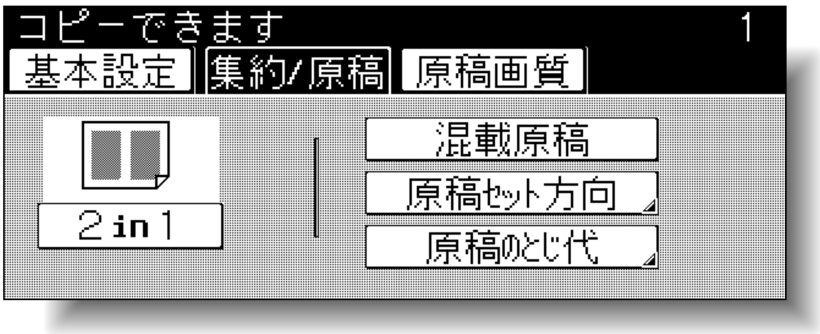
■ 2 枚の原稿を 1 枚の用紙に収める（集約）

1 基本設定画面の［集約 / 原稿］を押します。



集約 / 原稿画面が表示されます。

2 ［2in1］を押します。



❍ 設定を解除する場合は、もう 1 度選択したキーを押し、反転表示を解除します。

2.8　仕上り機能を選ぶ

コピーを排紙トレイに排紙するときの仕分け方法や仕上り方法を設定できます。

仕上り機能には以下の種類があります。

項目	説明
ソート	複数枚の原稿を部数単位に分けて出力します。
グループ	複数枚の原稿をページ単位に分けて出力します。
仕分け *1	フィニッシャを装着していない場合は、仕分け機能の条件を満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。 フィニッシャ装着している場合は、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。
コーナーステープル *2*3	コピーの完了した用紙のコーナーをステープル（針）でとじます。
2 点ステープル *2*3	コピーの完了した用紙の 2 点をステープル（針）でとじます。
2 穴パンチ *4	コピーの完了した用紙にファイリング用のパンチ穴（2 穴）をあけます。

*1　フィニッシャが装着されていない場合、以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。
- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を 方向と 方向にセットする
- 用紙／サイズ機能で自動用紙を設定する
- 混載原稿機能で自動用紙を設定しない

*2　［コーナーステープル］または［2 点ステープル］を選択した場合、自動的に［ソート］が選択されます。［コーナーステープル］または［2 点ステープル］と［仕分け］は組合わせて使用できません。

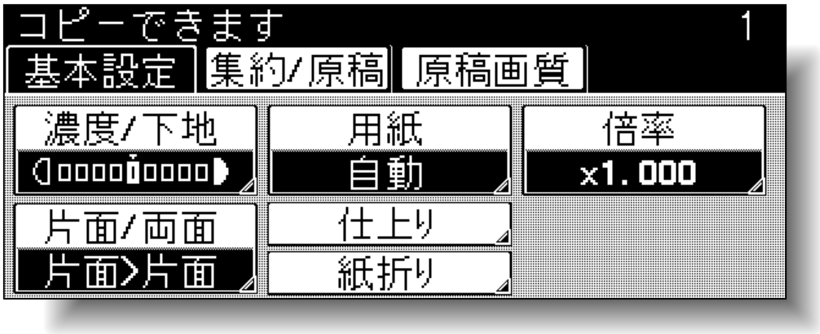
*3　ステープル機能はオプションのフィニッシャ FS-602、またはフィニッシャ FS-504/FS-505 を装着した場合にのみ使用できる機能です。

*4　パンチ機能はフィニッシャ FS-504/FS-505/FS-602 にパンチキット PK-502/PK-503 を装着した場合に使用できる機能です。

ここでは、仕上り機能の設定のしかたについて説明します。

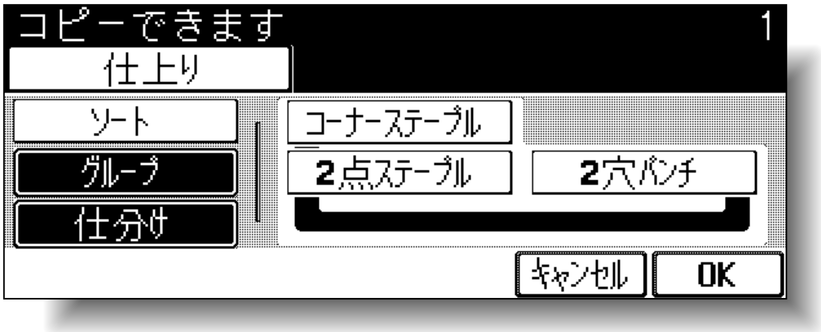
■ 仕上り機能の選択のしかた

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。



仕上り画面が表示されます。

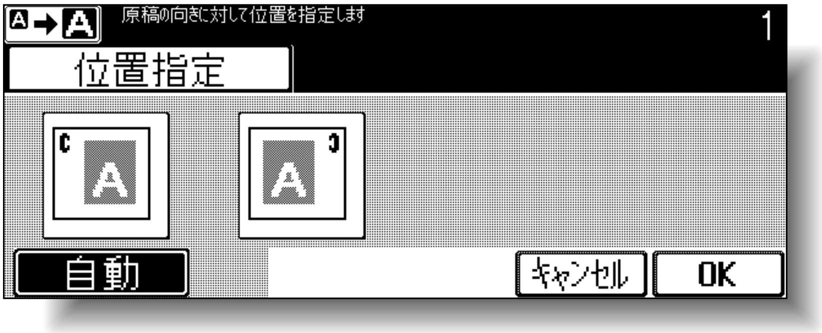
2 目的の機能を選択します。



- ❍ ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- ❍ 設定を解除する場合は、もう 1 度選択したキーを押し、反転表示を解除します。
- ❍ ［コーナーステープル］、［2 点ステープル］、［2 穴パンチ］のいずれかを選択した場合、［位置指定］を押し、目的の位置を選択します。

2

［自動］を押すと、セットした原稿の方向から用紙へのステープル位置またはパンチ位置を自動的に判断します。原稿の長辺が 297 mm 以下の場合は用紙の長辺に、原稿の長辺が 297 mm を超える場合は用紙の短辺に、ステープル位置またはパンチ位置を設定します。



3 ［OK］を 2 回押します。

基本設定画面にもどります。

2.9 紙折り機能を選ぶ

コピーを 2 つ折りや 3 つ折りなどにして排出する方法を設定できます。

紙折り機能には以下の種類があります。

項目	説明
中折り *1	用紙を 2 つ折りにして、排紙します。
中とじ *1	用紙のセンター 2ヶ所にステープルし、2 つ折りにして排紙します。
Z 折り *2*3	用紙をセンターより 2 つ折りにし、さらに用紙の半分を山折りにして排紙します。
3 つ折り *1*4	用紙を 3 つ折りにして、排紙します。

*1 フィニッシャ FS-602 を装着した場合に使用できる機能です。

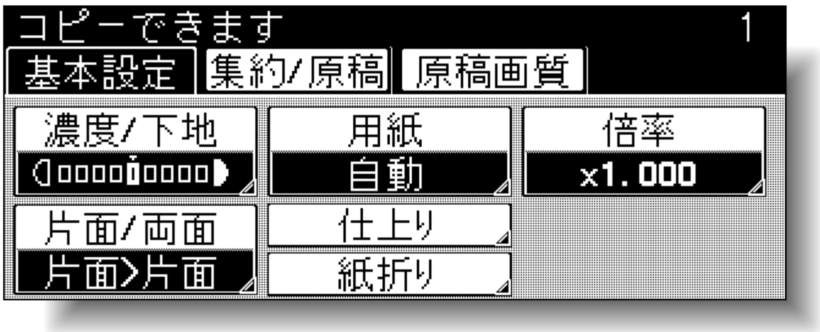
*2 フィニッシャ FS-504/FS-505/FS-602 に、Z 折りパンチユニット ZU-602 を装着した場合に使用できる機能です。

*3 Z 折りにできる用紙サイズは、A3 または B4 サイズのみです。

*4 用紙は 3 枚（普通紙 60 g/ m^2～ 80 g/ m^2）まで重ねて折ることができます。

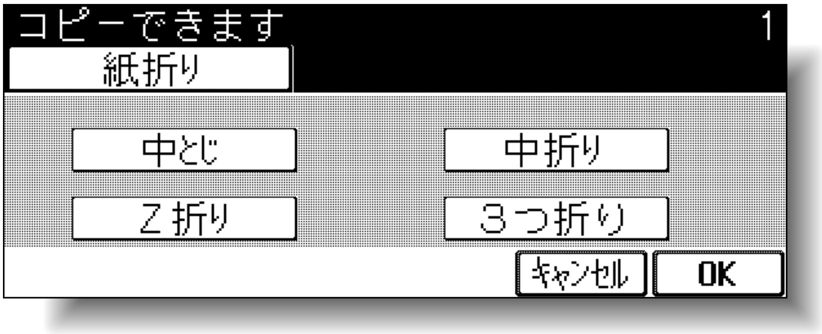
ここでは紙折り機能の設定のしかたについて説明します。

1 基本設定画面の［紙折り］を押します。



紙折り画面が表示されます。

2 目的の機能を選択します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

■ 用紙サイズを指定する

手差しトレイの用紙サイズを設定できます。

参照
用紙の設定については、ユーザーズガイド［コピー機能編］をごらんください。

手差しトレイの用紙サイズ選択には以下の種類があります。

項目	説明
自動検出	手差しトレイの用紙サイズを自動的に検出します。
サイズ指定 *1	手差しトレイの用紙サイズを指定し、指定した用紙サイズ専用のトレイとして使用します。 自動的にサイズが検出されない用紙を設定しておくと便利です。
不定形 *2	不定形紙に用紙サイズを指定し、指定した用紙サイズ専用のトレイとして使用します。
ワイド紙 *3	ワイド紙に用紙サイズを指定し、指定した用紙サイズ専用のトレイとして使用します。

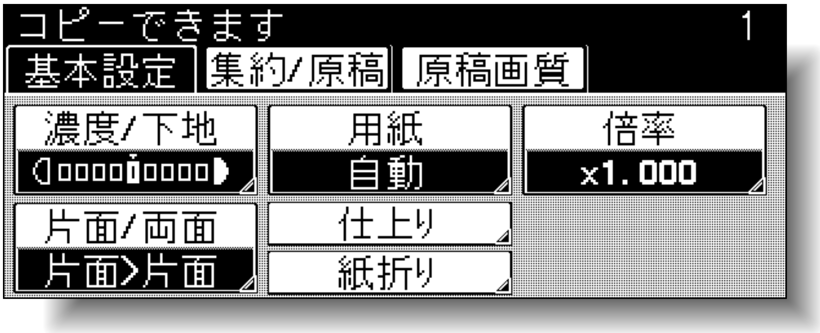
*1 サイズ指定された用紙サイズ以外の用紙をセットした場合、用紙サイズを自動検出しないため、紙づまりの原因となります。

*2 拡大表示画面で不定形紙を設定するには、あらかじめ標準サイズの設定画面で、不定形紙を登録しておく必要があります。詳しくは、ユーザーズガイド［コピー機能編］をごらんください。

*3 ワイド紙は定形サイズの一回り大きいサイズの紙で定形サイズの原稿紙端を欠損しないでコピーできます。例えば、A3 ワイド紙を使用すると、314 mm × 458 mm までプリントでき、A3 全面プリントが可能になります。

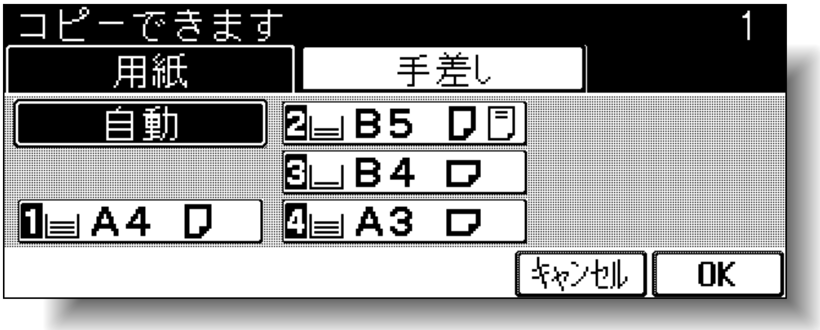
ここでは、手差しトレイの用紙サイズの指定方法について説明します。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。



用紙画面が表示されます。

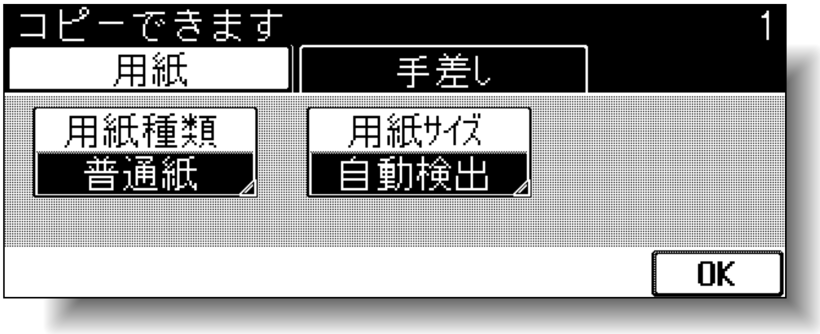
2 ［手差し］を押します。



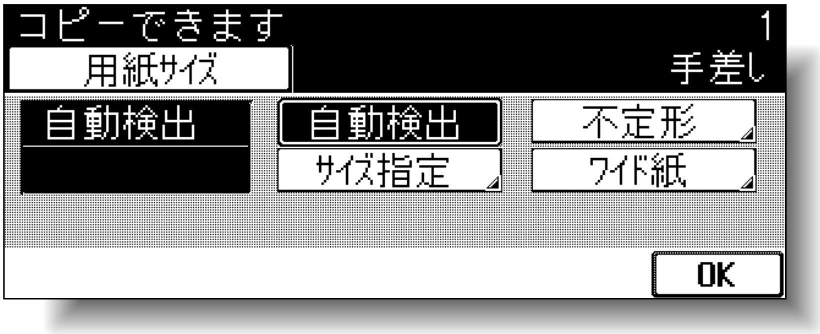
詳しく説明します

- 手差しトレイ以外の給紙トレイの設定変更をする場合は、ユーザーズガイド［コピー機能編］をごらんください。

3 ［用紙サイズ］を押します。



4 ［自動検出］または目的の用紙サイズを選択します。



❍ ［自動検出］以外のキーを押した場合は、目的の用紙サイズを選択し、［OK］を押します。［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

5 ［OK］を 3 回押します。

基本設定画面にもどります。

■ 専用紙の設定のしかた

OHP フィルムや特殊紙などを専用紙として設定しておくと、自動用紙機能時や自動トレイ切換え機能がはたらいたときに、専用紙設定された給紙トレイは自動選択されません。

ここでは、手差しトレイでの専用紙の設定方法を説明します。

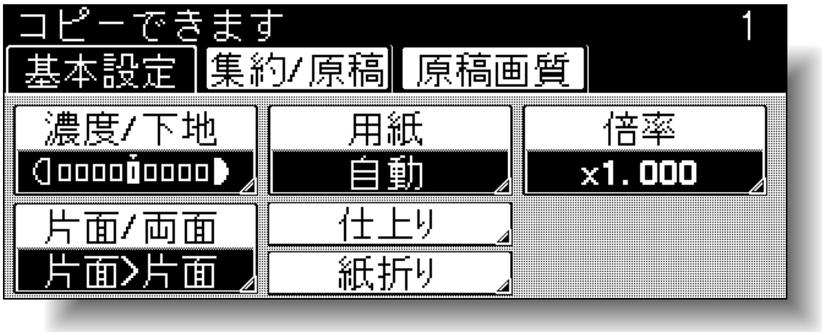
詳しく説明します

- 給紙トレイによりセットできる専用紙に制限があります。セット可能な用紙種類については、ユーザーズガイド［コピー機能編］をごらんください。
- 手差しトレイ以外の給紙トレイの設定変更をする場合は、ユーザーズガイド［コピー機能編］をごらんください。

必ず守ってください

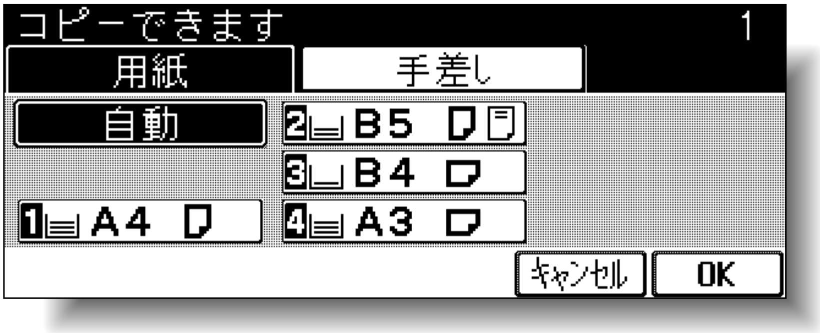
- 給紙トレイに OHP フィルムや厚紙をセットした場合、必ず該当する用紙種類に設定してください。誤った設定を行うと紙づまりの原因となります。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。



用紙画面が表示されます。

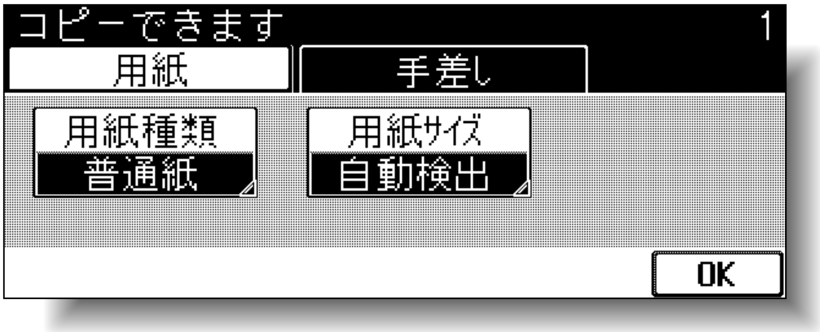
2 ［手差し］を押します。



詳しく説明します

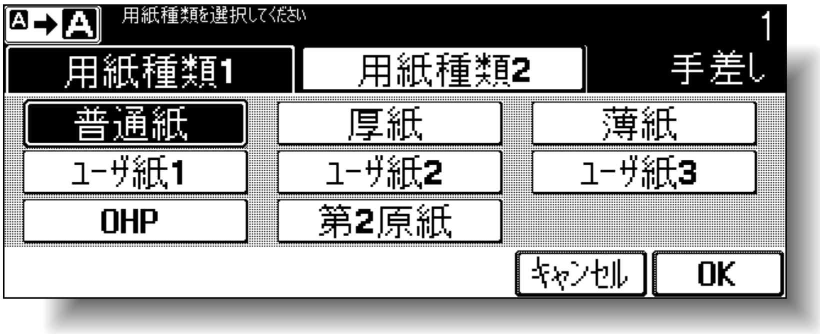
- 手差しトレイ以外の給紙トレイの設定変更をする場合は、ユーザーズガイド［コピー機能編］をごらんください。

3 ［用紙種類］を押します。



4 専用紙の種類を設定します。

目的の用紙種類のキーを押します。



❍ ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

❍ レターヘッド紙、特殊紙、インデックス紙、再生紙、上質紙、ラベル紙、色紙を設定するときは、［用紙種類 2］を押します。

5 ［OK］を 2 回押します。

基本設定画面にもどります。

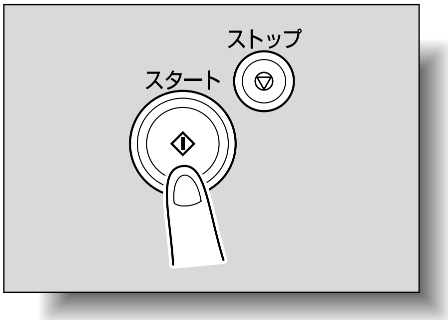
2.11 プリント中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約）

現在のコピージョブのプリント中に、次のコピージョブの設定や原稿読込みを行い、プリント完了後に続けて次のコピーをプリントします。

詳しく説明します

- コピー予約は、実行中のジョブを含めて最大 61 件まで登録できます。
- セットした原稿の読込み終了後にコピー予約できます。原稿読込み中に次のジョブは予約できません。

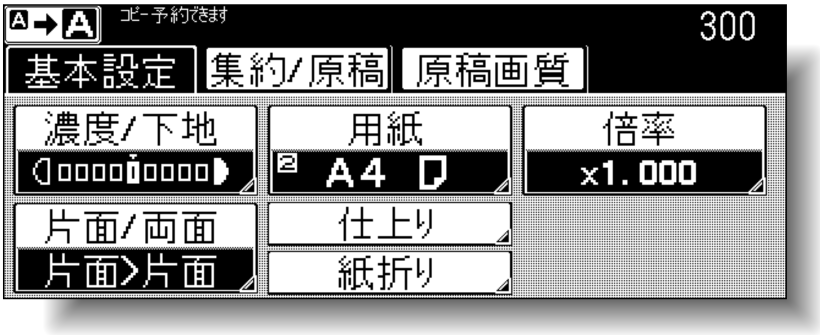
1 【スタート】を押して、読込み・プリントを開始します。



原稿読込み中の画面が表示されます。



2 「コピー予約できます」と表示されたら次コピーのコピー条件を設定します。



❍ 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 1-9）をごらんください。

3 【スタート】を押します。

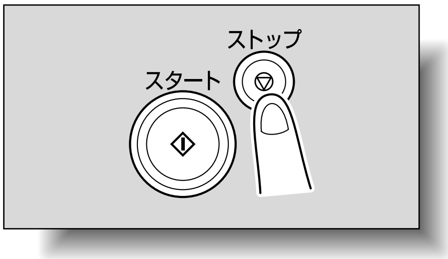
4 実行中のコピージョブ終了後、次コピーを開始します。

❍ 実行中のコピージョブが終了すると、自動的に次コピーのコピー条件が表示され、コピー作業を開始します。

2.12 読込み・プリントを中断する

原稿の読込みやプリントの動作を中断したいときは、以下の手順にしたがってください。

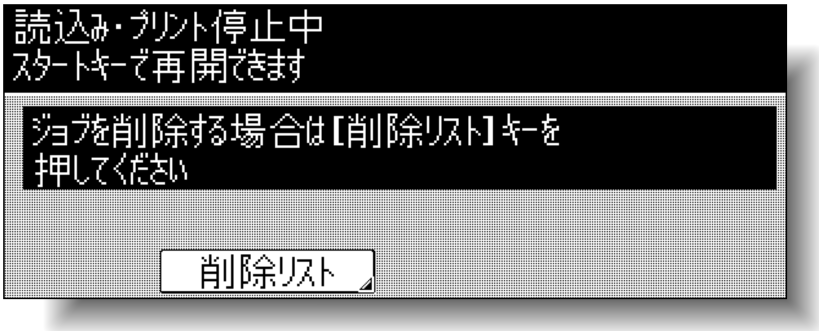
1 ジョブの読込み・プリント中に【ストップ】を押します。



読込み・プリントが停止します。

詳しく説明します

- 読込み中ジョブがある場合は、【ストップ】を押すと、同時に停止します。



読込み・プリント停止中画面が表示されます。

2 【スタート】を押すと、停止していた全てのジョブが再開されます。

詳しく説明します

- 中断したジョブを削除する場合は［削除リスト］を押します。削除したいジョブを選択し、［削除実行］を押します。
- 削除するジョブは 1 つずつ選択します。

第 3 章
スキャナ機能の使い方

3.1 スキャン操作の流れ

参照

スキャン操作については、ユーザーズガイド［ネットワーク／スキャナ機能編］もごらんください。

詳しく説明します

- あらかじめ、標準サイズの画面で設定メニューからスキャナ設定、ネットワーク設定、宛先登録を行ってください。詳しくは、ユーザーズガイド［ネットワーク／スキャナ機能編］をごらんください。

スキャン操作の流れを説明します。

1 操作パネルの【スキャン】を押し、【拡大表示】を押します。

スキャン機能の拡大表示画面が表示されます。

2 原稿をセットします。

❍ 原稿のセット方法については、（p. 1-9）をごらんください。

3 宛先を指定します。

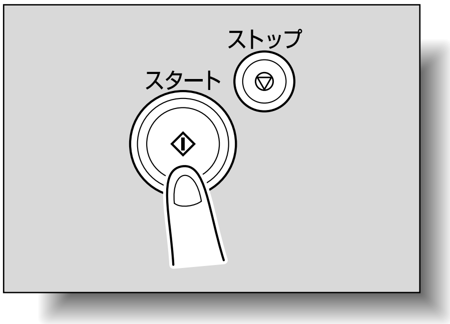


❍ 宛先の指定については、（p. 3-4）をごらんください。

4 必要に応じてスキャン内容の設定をします。

❍ スキャン内容の設定については、（p. 3-10）をごらんください。

5 【スタート】を押します。



スキャンが行われ、データが送信されます。

❍ スキャン中に【ストップ】を押すと、スキャンが一時停止します。

詳しく説明します

- 宛先は設定メニューから、あらかじめ登録しておく必要があります。登録方法についてはユーザーズガイド［ネットワーク／スキャナ機能編］をごらんください。

スキャンしたデータの送信方法には以下の種類があります。

項目	説明
E-Mail 送信	スキャンしたデータを添付ファイルとして、指定した電子メールアドレスに送信できます。
ファイル送信（FTP）	FTP サーバのあるネットワーク環境で使用できます。スキャンしたデータをネットワーク上の FTP サーバ内の指定したフォルダに送信します。 高解像度のデータなど、容量の大きなデータの送信に適しています。 送信先のサーバの条件によってはドキュメント名に制限がある場合に送信できないことがあります。ドキュメント名は送信時のファイル名になるため、ネットワーク管理者に問合わせてから設定してください。
ファイル送信（SMB）	スキャンしたデータをネットワーク上の特定のコンピュータに直接送信します。 ファイル送信（SMB）を行うには、データを受信するコンピュータに Windows の共有ファイル設定をあらかじめ行ってください。

ここでは、スキャンしたデータを送信する相手先を指定する手順について説明します。

3

■ プログラムを使う

送信先や読込みの設定などをまとめて登録したものを「プログラム」といいます。いつも決まった読込み条件で送信するときに便利です。ここでは、あらかじめ登録したプログラムキーを指定して送信する方法を説明します。

詳しく説明します

- プログラムに宛先が登録されていない場合は、宛先は設定されません。

1 プログラム画面で目的のプログラムキーを押します。



❍ ［ページ一覧］を押すと、プログラム宛先の表示をページ単位で指定できます。

❍ 設定を解除する場合は、もう 1 度選択したキーを押し、反転表示を解除します。

❍【リセット】を押すと、設定した宛先がすべて削除されます。

❍ 設定した宛先を確認 / 削除する場合は【設定内容】を押します。宛先の確認 / 削除については「条件を確認する（設定内容）」（p. 5-9）をごらんください。

❍ グループ宛先またはアドレス帳で送信先のアドレスをさらに追加できます。

■ グループ宛先を選ぶ

複数の送信先をまとめて登録したものを「グループ」といいます。ここでは、あらかじめ登録したグループを指定して送信する方法を説明します。

1 プログラム画面の［グループ］を押します。



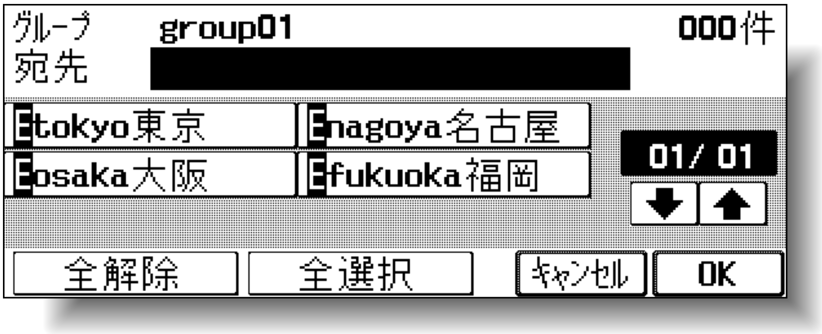
グループ画面が表示されます。

2 目的のグループを選択します。



グループに登録されたメンバーの一覧が表示されます。

3 送信する宛先を選択します。



- ［全解除］を押すと、選択している宛先が全て解除されます。
- ［全選択］を押すと、グループに登録されている宛先を全て選択します。
- 設定を解除する場合は、もう 1 度選択したキーを押し、反転表示を解除します。
- 【リセット】を押すと、設定した宛先がすべて削除されます。
- 設定した宛先を確認 / 削除する場合は【設定内容】を押します。宛先の確認 / 削除については「条件を確認する（設定内容）」（p. 5-9）をごらんください。
- キーの前に表示されているアルファベットは、短縮宛先に登録された次の内容を表します。
  E　E-Mail 宛先
  F　FTP 宛先
  S　SMB 宛先
  B　ボックス宛先
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4 ［OK］を押します。

- プログラムまたはアドレス帳で送信先のアドレスをさらに追加できます。

■ アドレス帳から送信先を選ぶ

あらかじめ登録された送信先のアドレスの集まりを、「アドレス帳」といいます。ここでは、アドレス帳から送信先を指定して送信する方法を説明します。

詳しく説明します

- アドレス帳からは同時に複数の宛先を指定できます。

---

1 プログラム画面の［アドレス帳］を押します。



アドレス帳が表示されます。

2 宛先キーを押してアドレスを選択します。



選択したキーが反転表示になります。

❍ 登録されている宛先名は、インデックスキーを押すと該当するアドレスが表示されます。

- インデックスキーの表示は［切替］で英文字とひらがなを切換えることができます。
- 設定を解除する場合は、もう 1 度選択したキーを押し、反転表示を解除します。
- 【リセット】を押すと、設定した宛先がすべて削除されます。
- 設定した宛先を確認 / 削除する場合は【設定内容】を押します。宛先の確認 / 削除については「条件を確認する（設定内容）」（p. 5-9）をごらんください。
- キーの前に表示されているアルファベットは、短縮宛先に登録された次の内容を表します。

  E　E-Mail 宛先
  F　FTP 宛先
  S　SMB 宛先
  B　ボックス宛先
- プログラムまたはグループ宛先で送信先のアドレスをさらに追加できます。

3.3 スキャンの内容を設定する（読込設定）

スキャン画面で［読込設定］を押すと、スキャン時の読込の詳しい内容を設定できます。

■ ファイル形式

スキャンしたデータを保存するファイル形式を選択します。選択できるファイル形式は以下の 2 種類です。

項目	説明
PDF	PDF 形式で保存します。
TIFF	TIFF 形式で保存します。

1 スキャン画面の［読込設定］を押します。



読込設定画面が表示されます。

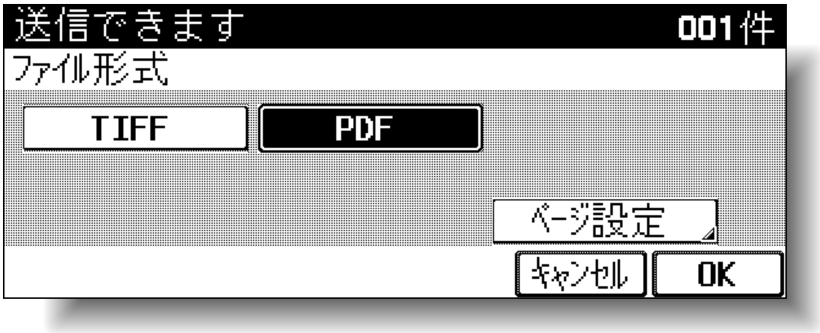
2 ［ファイル形式］を押します。



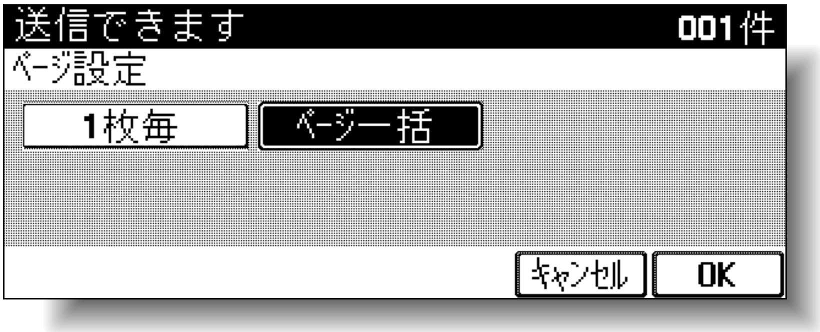
ファイル形式画面が表示されます。

3

3 ファイル形式を選択し、［ページ設定］を押します。



4 目的の設定を選択します。



- ［1 枚毎］を選ぶと、原稿 1 枚ごとにひとつのファイルを作成します。
- ［ページ一括］を選ぶと、スキャンした全ての原稿をまとめてひとつのファイルを作成します。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

5 ［OK］を 3 回押します。

■ 解像度

スキャンする解像度を選択します。解像度は 200dpi、300dpi、400dpi、600dpi から選択できます。

1 スキャン画面の［読込設定］を押します。



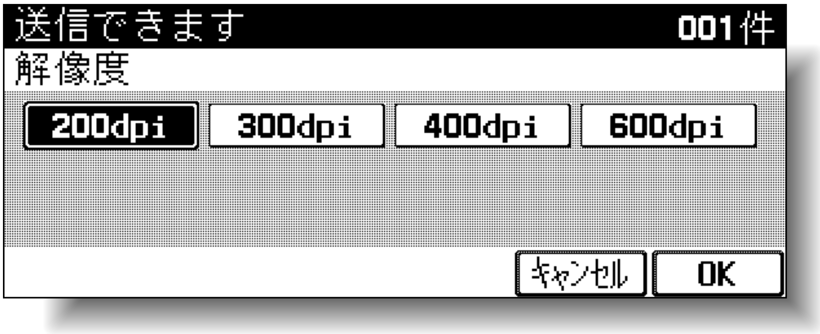
読込設定画面が表示されます。

2 ［解像度］を押します。



解像度画面が表示されます。

3 解像度を選択します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4［OK］を 2 回押します。

■ 読込みサイズ

スキャンする用紙のサイズを設定します。設定できる読込みサイズは以下のとおりです。

項目	説明
自動	セットした原稿の 1 枚目のサイズを検知します。
A 系・B 系	A4、B5 など決まったサイズと方向を選択します。
インチ系	インチ系の決まったサイズと方向を選択します。
その他	A 系・B 系、インチ系以外の決まったサイズと方向を選択します。

1 スキャン画面の［読込設定］を押します。



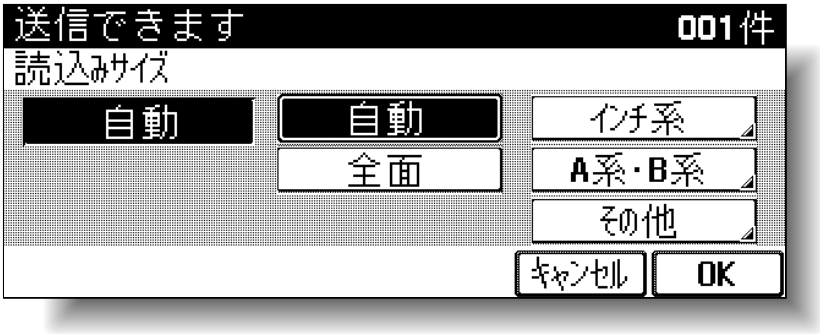
読込設定画面が表示されます。

2 ［読込みサイズ］を押します。



読込みサイズ画面が表示されます。

3 サイズと方向を選択します。



- ❍［自動］、［全面］以外のキーを押した場合は、目的の用紙サイズを選択し、［OK］を押します。
- ❍［全面］を押すと、通常行っている用紙端の画像消しを行わずに、用紙ぎりぎりまで画像を読み込みます。
- ❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4 ［OK］を 2 回押します。

■ 片面 / 両面

原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするか選択します。

項目	説明
片面	原稿の片面をスキャンします。
両面	原稿の両面をスキャンします。
表紙 + 両面	1 枚目の原稿を片面、2 枚目以降の原稿を両面原稿としてスキャンします。

1 スキャン画面の［読込設定］を押します。



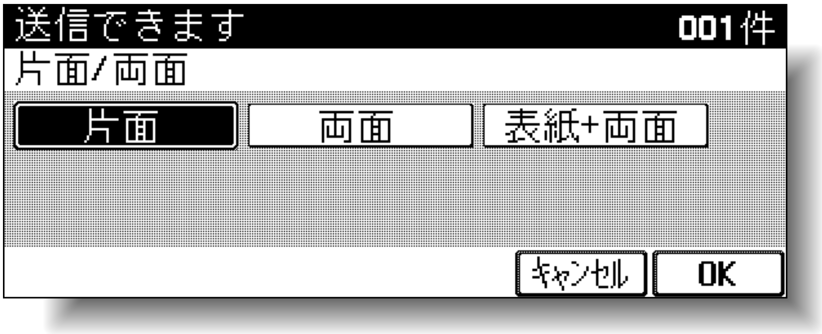
読込設定画面が表示されます。

2 ［片面 / 両面］を押します。



片面 / 両面画面が表示されます。

3 スキャンの種類を選択します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4［OK］を 2 回押します。

■ 原稿画質

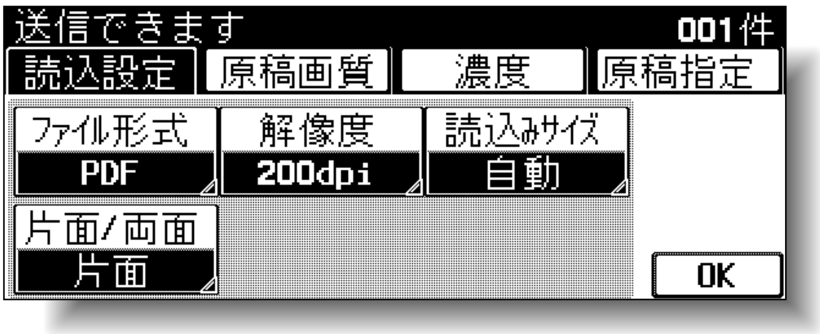
原稿の内容に合わせて選択します。選択できる画質について詳しくは、「原稿の画質を選ぶ」（p. 2-16）をごらんください。

1 スキャン画面の［読込設定］を押します。



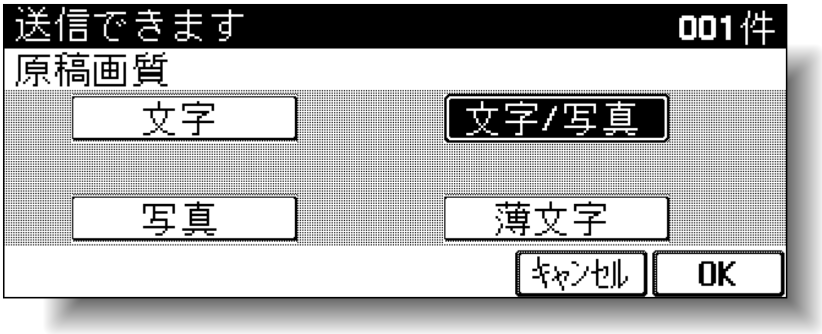
読込設定画面が表示されます。

2 ［原稿画質］を押します。



原稿画質画面が表示されます。

3 セットした原稿に合った画質を選択します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4 ［OK］を 2 回押します。

■ 濃度

スキャン時に、原稿の濃度を調整します。

1 スキャン画面の［読込設定］を押します。



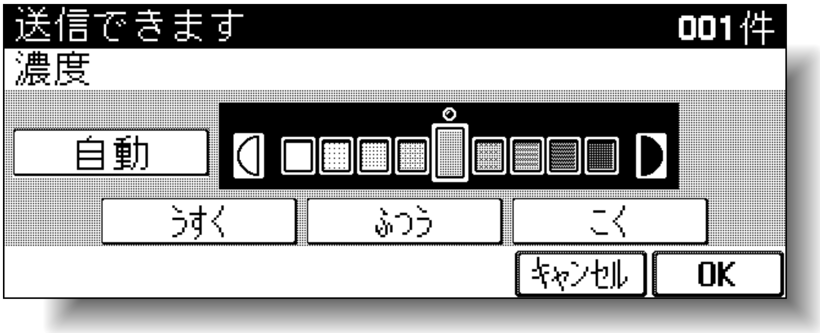
読込設定画面が表示されます。

2 ［濃度］を押します。



濃度画面が表示されます。

3 目的の濃さに調整します。



- ［うすく］、［こく］を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- ［ふつう］を押すと、中央（標準値）にもどります。
- ［自動］を押すと、濃度を自動的に判断し、最適な濃度でプリントします。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4 ［OK］を 2 回押します。

■ 原稿設定

原稿のセット方向や、両面原稿のとじ方向を設定します。

項目	説明
原稿セット方向	原稿の天地の位置を選択します。スキャンしたあとに天地が正しくなるようデータを処理します。 選択できる原稿セット方向について詳しくは、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 1-14）をごらんください。
両面とじ方向	原稿についているパンチ穴あけやステープルどめなどのとじ代の位置を指定します。 両面原稿をスキャンするとき、とじ代の位置が逆にならないよう補正します。 左：原稿の左側にとじ代がある原稿 上：原稿の上側にとじ代がある原稿 右：原稿の右側にとじ代がある原稿 自動：297 mm 以下のサイズは長辺をとじる、297 mm を超えるサイズは短辺をとじると判断します。

これらの機能は同時に組み合わせて設定できます。

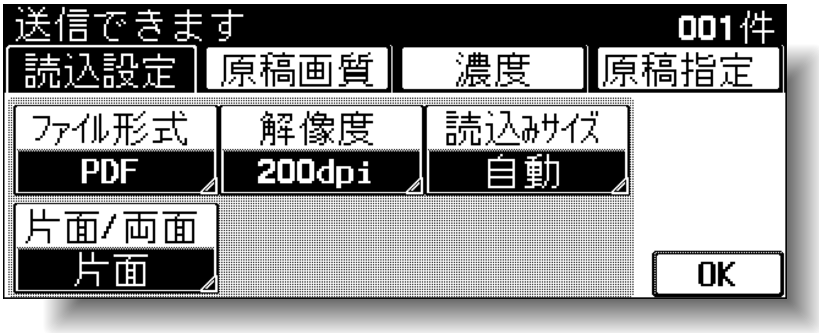
1 スキャン画面の［読込設定］を押します。



読込設定画面が表示されます。

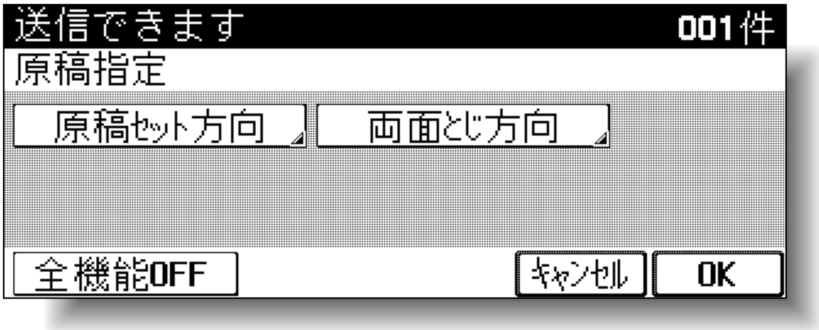
3

2 ［原稿指定］を押します。



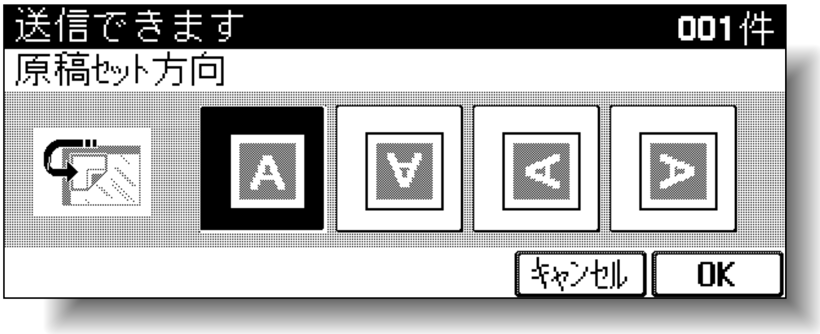
原稿指定画面が表示されます。

3 原稿指定の内容を設定します。

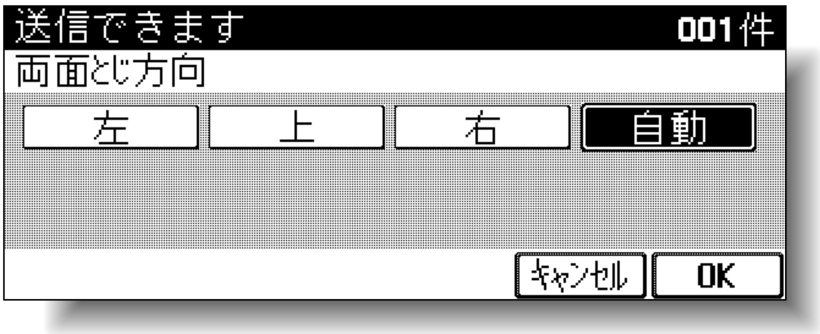


- ❍ 設定した内容を全て元にもどすときは［全機能 OFF］を押します。
- ❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

❍「原稿セット方向」を選択したときはセット方向を選択する画面が表示されます。方向を選択し、［OK］を押します。



❍「両面とじ方向」を選択したときは、原稿のとじ代位置を選択する画面が表示されます。とじ代の位置を選択し、［OK］を押します。



4 ［OK］を 3 回押します。

第 4 章
ファクス機能の使い方

参照

ファクス操作については、ユーザーズガイド［ファクシミリ機能編］、［ネットワークファクス機能編］もごらんください。

ファクス操作の流れを説明します。

1 操作パネルの【ファクス】を押し、【拡大表示】を押します。

ファクス機能の拡大表示画面が表示されます。

2 必要に応じてファクス内容の設定をします。



❍ ファクス内容の設定については「送信内容を設定する（読込設定）」（p. 4-14）をごらんください。

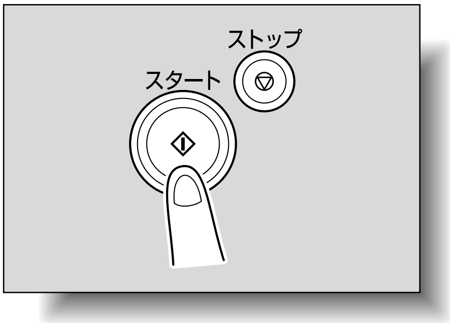
3 相手のファクス番号を指定します。

❍ 宛先の指定については（p. 4-4）をごらんください。

4 原稿をセットします。

❍ 原稿のセット方法については、（p. 1-9）をごらんください。

5 操作パネルの【スタート】を押します。



❍ 宛先確認表示機能が設定されている場合は、宛先確認一覧画面が表示されます。宛先を確認して［送信］を押します。

原稿の読み込みが始まり、送信されます。

詳しく説明します

- 送信結果レポート画面を表示するように設定しているときは、送信結果レポート出力確認画面が表示されます。［はい］を押すと、送信結果レポートがプリントされます。
- 送信を中止する場合は、【ストップ】を押します。
- 送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。

詳しく説明します

- 宛先は設定メニューから、あらかじめ登録しておくと便利です。登録方法についてはユーザーズガイド［ファクシミリ機能編］をごらんください。
- 手動で送信 / 受信する場合は［オフフック］を押します。このキーを押すと、回線上の音がスピーカーから流れます。
詳しくは、ユーザーズガイド［ファクシミリ機能編］をごらんください。

ここでは、ファクスを送信する相手先を指定する手順について説明します。

■ プログラムを使う

プログラムに宛先が登録されている場合は、［プログラム］を押すとダイアルできます。

詳しく説明します

- プログラムに宛先が登録されていない場合は、宛先は設定されません。
- プログラム宛先に通信機能が設定されている場合は、自動的に機能が設定されます。
- プログラム宛先を 1 件指定できます。

1 プログラム画面で目的のプログラムキーを押します。



- ❍ ［ページ一覧］を押すと、プログラム宛先の表示をページ単位で指定できます。
- ❍ 設定を解除する場合は、もう 1 度選択したキーを押し、反転表示を解除します。
- ❍【リセット】を押すと、設定した宛先がすべて削除されます。
- ❍ 設定した宛先を確認 / 削除する場合は【設定内容】を押します。宛先の確認 / 削除については「条件を確認する（設定内容）」（p. 5-9）をごらんください。
- ❍ グループやダイレクト入力で送信先をさらに追加できます。

■ グループ宛先を選ぶ

一度の操作で複数の宛先に原稿を送信することができます。

詳しく説明します

- ● 最大 605 件（短縮 500 件、テンキー 100 件、ダイレクト入力による E-Mail 宛先 5 件）を宛先として指定できます。

1 プログラム画面の［グループ］を押します。



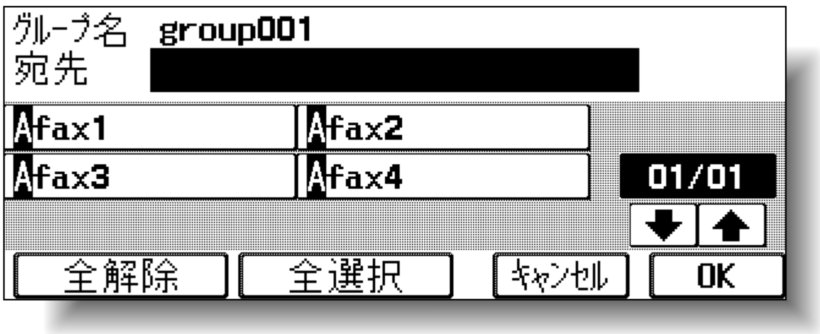
グループ画面が表示されます。

2 目的のグループを選択します。



グループに登録されたメンバーの一覧が表示されます。

3 送信する宛先を選択します。



- ❍［全解除］を押すと、選択している宛先が全て解除されます。
- ❍［全選択］を押すと、グループに登録されている宛先を全て選択します。
- ❍ 設定を解除する場合は、もう 1 度選択したキーを押し、反転表示を解除します。
- ❍【リセット】を押すと、設定した宛先がすべて削除されます。
- ❍ 設定した宛先を確認 / 削除する場合は【設定内容】を押します。宛先の確認 / 削除については「条件を確認する（設定内容）」（p. 5-9）をごらんください。

❍ キーの前に表示されているアルファベットは、短縮宛先に登録された次の内容を表します。
A　ダイアル宛先
E　E-Mail 宛先
B　ボックス宛先
I　インターネットファクス宛先
P　IP アドレスファクス宛先

❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

詳しく説明します

- ［ダイレクト入力］で［グループ］を押し、グループ No.（01 ～ 99、00）を入力して指定することもできます。
- 上記の方法で指定した場合は、グループに登録されているすべての宛先へ送信されます。

4　［OK］を押します。

❍ プログラムやダイレクト入力で送信先をさらに追加できます。

■ 短縮 / アドレスから送信先を選ぶ

短縮宛先が登録されている場合は、登録されている検索文字から検索してダイアルできます。

1 プログラム画面の［短縮 / アドレス］を押します。



短縮 / アドレス画面が表示されます。

2 送信したい宛先のキーを押します。



選択したキーが反転表示になります。

- ❍ 登録されている宛先名は、インデックスキーを押すと該当するアドレスが表示されます。
- ❍ インデックスキーの表示は ⇔ で英文字とひらがなを切換えることができます。
- ❍ 設定を解除する場合は、もう 1 度選択したキーを押し、反転表示を解除します。

- 【リセット】を押すと、設定した宛先がすべて削除されます。
- 設定した宛先を確認 / 削除する場合は【設定内容】を押します。宛先の確認 / 削除については「条件を確認する（設定内容）」（p. 5-9）をごらんください。
- キーの前に表示されているアルファベットは、短縮宛先に登録された次の内容を表します。
  A　ダイアル宛先
  E　E-Mail 宛先
  B　ボックス宛先
  I　インターネットファクス宛先
  P　IP アドレスファクス宛先
- プログラムやグループで送信先をさらに追加できます。

■ ダイレクト入力を使う

ダイレクト入力では、トーン・ポーズ・ーなど、特殊なダイアル記号を入力することもできます。テンキーでファクス番号を入力したり、短縮宛先を指定することもできます。

詳しく説明します

- 設定メニューの［セキュリティ設定］にある［手動宛先入力］を禁止にすると、［ダイレクト入力］が表示されません。［手動宛先入力］の設定については、管理者にお問い合わせください。

1 プログラム画面の［ダイレクト入力］を押します。



ダイレクト入力画面が表示されます。

2 必要に応じてトーン・ポーズ・ーなど、特殊なダイアル記号を入力し、相手のファクス番号をテンキーで入力します。



❍ 入力中の宛先を削除する場合は［削除］を押します。

- 引き続き宛先を設定するときは、［次宛先］を押して入力を続けます。
- 【リセット】を押すと、設定した宛先がすべて削除されます。
- 設定した宛先を確認 / 削除する場合は【設定内容】を押します。宛先の確認 / 削除については「条件を確認する（設定内容）」（p. 5-9）をごらんください。
- プログラムやグループで送信先をさらに追加できます。
- ［トーン］：ダイアル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には［T］が表示されます。

  ダイアル（パルス）回線の場合、⊛ を使ってプッシュトーンに切り換えることができます。
- ［ポーズ］：ダイアルに間をあけたいときに押します。
  ［ポーズ］1 回で 1 秒の間隔を入力することができ、繰り返して入力することもできます。画面には［P］が表示されます。
  PBX（構内交換機）接続が［ON］に設定されている場合、内線から外線に発信するときは、より確実にダイアルするために、「0」などの外線番号のあとに［ポーズ］を押します。画面には［P］と表示されます。
- ［-］：ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。画面には［-］が表示されます。
- ［短縮］：テンキーで短縮番号（0001 ～ 2000 までの 2,000 種）を入力し、短縮宛先で登録した宛先を指定します。画面には「A0001:KMBT」のように、A 短縮番号：宛先名の形式で表示されます。

■ リダイアルを使う

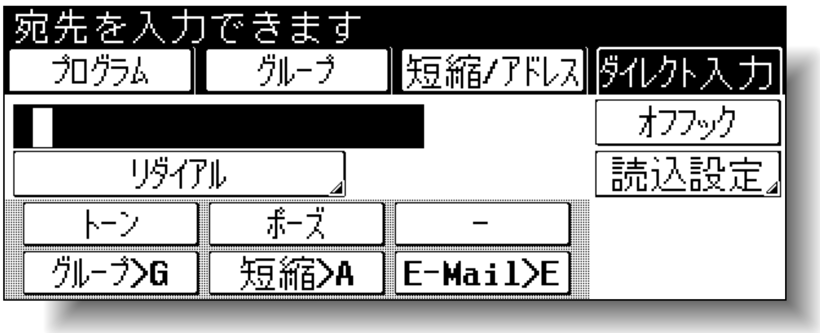
同じ宛先にもう一度ダイアルすることをリダイアルと呼びます。

1 プログラム画面の［ダイレクト入力］を押します。



ダイレクト入力画面が表示されます。

2 ［リダイアル］を押します。



リダイアル選択画面が表示されます。

3 表示された宛先からリダイアル先を指定します。



宛先表示部にはダイアル済みの最新のファクス番号が、順番に 5 件まで表示されます。

❍ 設定を解除する場合は、もう 1 度選択したキーを押し、反転表示を解除します。

❍【リセット】を押すと、設定した宛先がすべて削除されます。

❍ 設定した宛先を確認 / 削除する場合は【設定内容】を押します。宛先の確認 / 削除については「条件を確認する（設定内容）」（p. 5-9）をごらんください。

❍ プログラムやグループで送信先をさらに追加できます。

❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4.3 送信内容を設定する（読込設定）

ファクス画面の［読込設定］を押すと、［原稿画質］、［濃度］、［片面 / 両面］、［解像度］が表示され、送信する原稿に合わせて送信条件を設定できます。

詳しく説明します

- ページ単位で送信条件を設定することはできません。

■ 原稿画質

原稿の内容に応じて原稿画質を設定します。

原稿画質には、次の 4 種類があります。

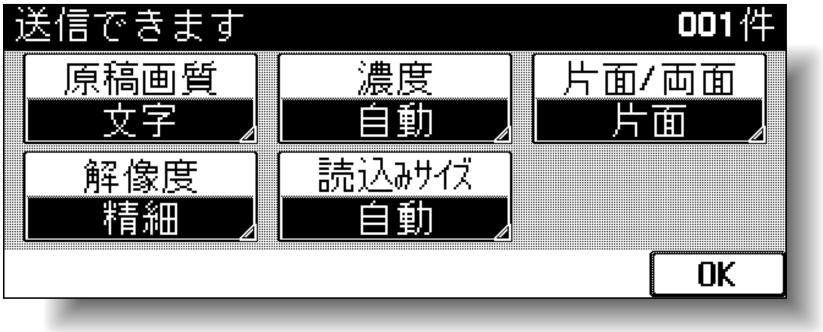
項目	説明
文字	文字だけの原稿を読込む場合に押します。このモードを選択して写真原稿を読込むと、写真の中間色が再現されず、黒くなります。
文字 / 写真	文字と写真（ハーフトーン）が混ざった原稿を読込む場合に押します。1 ページ中に文字と写真が混ざっているとき、文書の中に文字のページと写真のページが混ざっているとき、どちらのときもこのモードを選択します。
写真	写真（ハーフトーン）だけの原稿を読込む場合に押します。
薄文字	鉛筆書きなど、薄く書かれた文字の原稿を読込む場合に押します。

1 ファクス画面の［読込設定］を押します。



読込設定画面が表示されます。

2 ［原稿画質］を押します。



原稿画質画面が表示されます。

3 セットした原稿に合った画質を選択します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4 ［OK］を 2 回押します。

4

■ 濃度

原稿の濃度に応じて濃度を設定します。

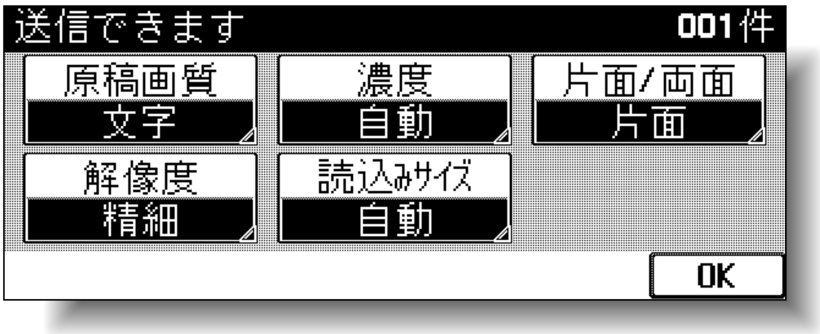
濃度は 9 段階に設定できます。

1 ファクス画面の［読込設定］を押します。



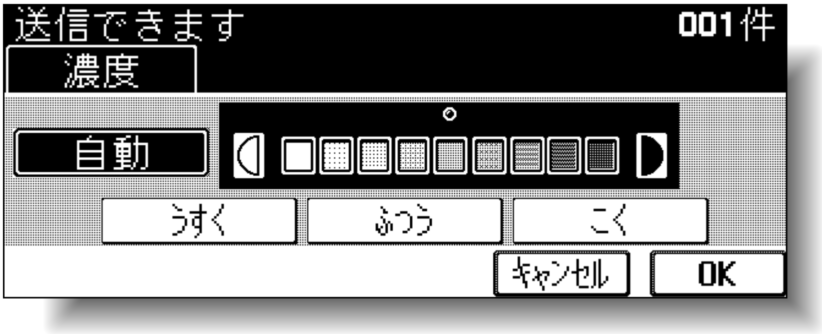
読込設定画面が表示されます。

2 ［濃度］を押します。



濃度調整画面が表示されます。

3 目的の濃度に調整します。



- [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- [ふつう] を押すと、中央（標準値）にもどります。
- [キャンセル] を押すと設定は変更されません。

4 [OK] を 2 回押します。

■ 片面 / 両面

原稿の状態に応じて ADF での読込み方法を設定します。

読込み方法には、次の 3 種類があります。

項目	説明
片面	片面原稿を読込む場合に押します。
両面	両面原稿を読込む場合に押します。
表紙 + 両面	1 枚目の原稿を片面、2 枚目以降の原稿を両面原稿として読み込む場合に押します。

1 ファクス画面の［読込設定］を押します。



読込設定画面が表示されます。

2 ［片面 / 両面］を押します。



片面 / 両面画面が表示されます。

3 スキャンの種類を選択します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4 ［OK］を 2 回押します。

■ 解像度

原稿を読込む細かさを設定します。

解像度には、次の 4 種類があります。

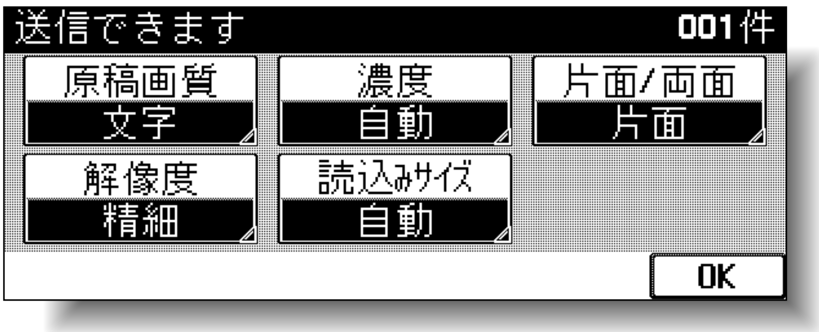
項目	説明
普通	送信時間を短くしたい場合に押します。
精細	通常の原稿を読込む場合に押します。
高精細	小さな文字や図などがある原稿を読込む場合に押します。
超高精細	精細な図面や文字などがある特に細かい原稿を読込む場合に押します。

1 ファクス画面の［読込設定］を押します。



読込設定画面が表示されます。

2 ［解像度］を押します。



解像度画面が表示されます。

3 解像度を選択します。



- より精細に読み込むほど、送信する情報量が増え、通信時間が長くなります。
- ［超高精細］や［高精細］を選択した場合、受信側にその解像度で受信をする機能がないときは、相手側の受信能力に応じた解像度で送信されます。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4 ［OK］を 2 回押します。

■ 読込みサイズ

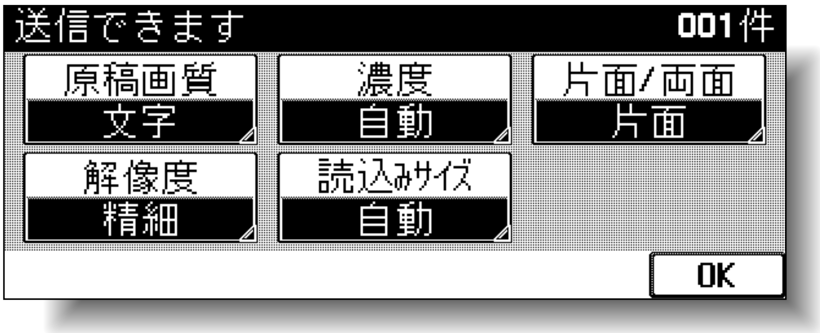
原稿を読込むサイズを設定します。

1. ファクス画面の［読込設定］を押します。



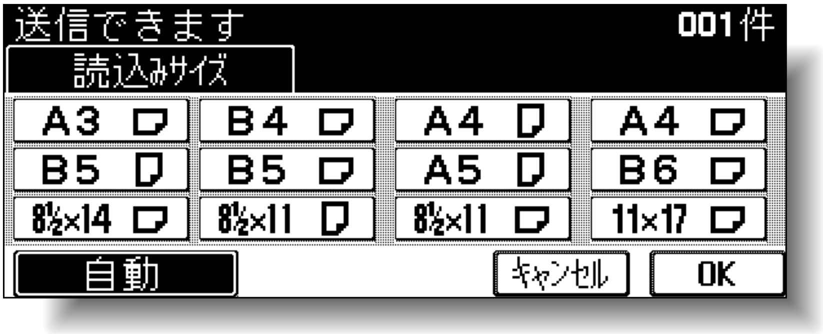
読込設定画面が表示されます。

2. ［読込みサイズ］を押します。



読込みサイズ設定画面が表示されます。

3 サイズと方向を選択します。



❍［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4［OK］を 2 回押します。

第 5 章

コピー補助

5

コピーするときに手助けになる機能について説明します。

参照
ユーザーズガイド［コピー機能編］もごらんください。

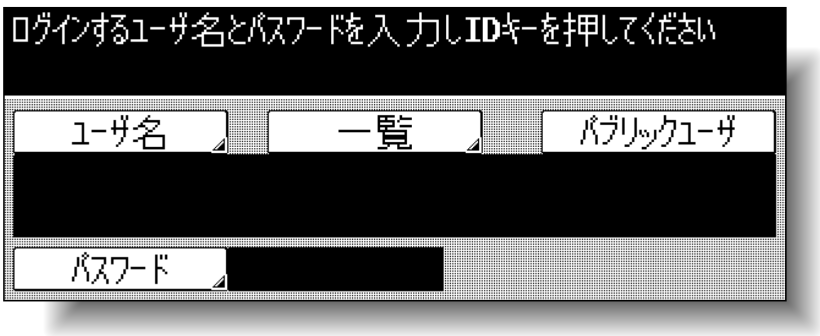
■ ユーザ名入力画面が表示されたら

「ログインするユーザ名とパスワードを入力し ID キーを押してください」と表示されたら、本機はユーザ認証を行っています。

ユーザ認証設定が行われている場合、ユーザ名とパスワードを入力しないと本機を操作できません。下の画面が表示されたときはユーザ名とパスワードを入力してください。

ユーザ名とパスワードは、本機の管理者にご確認ください。

1 ［ユーザ名］を押します。



❍ 表示される画面は管理者設定の内容により異なります。

詳しく説明します

- ユーザ名の一覧が表示されている場合は、一覧から目的のユーザ名を選択できます。［一覧］を押して目的のユーザ名を選択し、［OK］を押します。一覧画面で［全ユーザー覧］を押すと、全ユーザの一覧が表示されます。
手順 3 へ進みます。
- ［パブリックユーザ］が表示されている場合は、［パブリックユーザ］を押すと、ユーザ名、パスワードを知らない方でも本機を使用できます。

2 表示されるキーボードまたはテンキーからユーザ名を入力し、［OK］を押します。

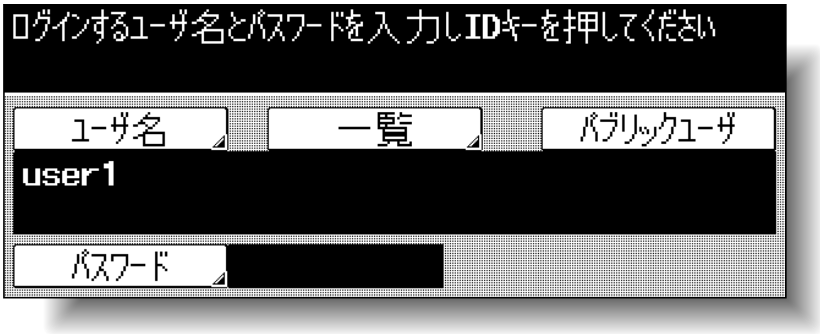


詳しく説明します

- ［記号］、［英字］、［Shift］、［全角］、［かな 1］、［かな 2］、［他かな］、［カナ 1］、［カナ 2］、［他カナ］、［半角］で表示される文字が切換わります。
- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。
- 入力を取消すには、［キャンセル］を押します。

5

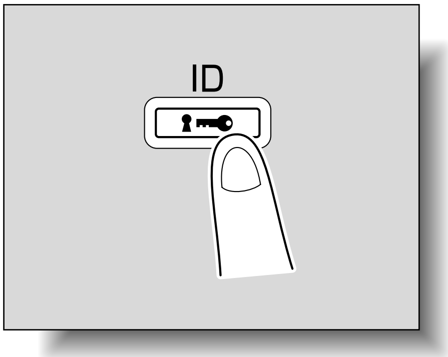
3 ［パスワード］を押します。



4 表示されるキーボードまたはテンキーからパスワードを入力し、［OK］を押します。

❍ 数字を入力するときは、テンキーを使用します。

5 操作パネルの【ID】を押します。



基本設定画面が表示されます。

❍ 管理者設定で部門管理設定をしている場合は、部門認証画面が表示されます。ただし、管理者設定でユーザ認証 / 部門認証の連動を［連動する］に設定し、ユーザと部門の関連付けがされている場合は、部門認証画面は表示されません。

6 目的の操作が終了したら、【ID】を押します。

ログアウト確認画面が表示されます。

7 ［はい］を押します。



ユーザ認証画面にもどります。

■ 部門名またはパスワード入力画面が表示されたら

「ログインする部門名とパスワードを入力し ID キーを押してください」と表示されたら、本機は部門管理を行っています。

部門管理設定が行われている場合、部門名とパスワードを入力しないと本機を操作できません。下の画面が表示されたときは部門名とパスワードを入力してください。

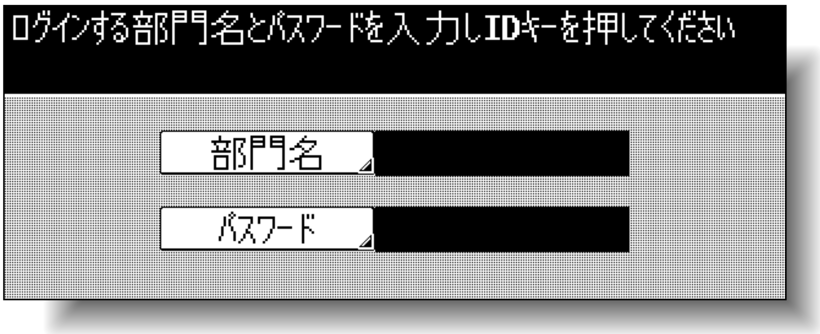
部門名とパスワードは、本機の管理者にご確認ください。

詳しく説明します

- 管理者設定の部門管理認証方式が［パスワードのみ］に設定されている場合は、パスワードを入力するだけでログインできます。詳しくは、ユーザーズガイド［コピー機能編］をごらんください。

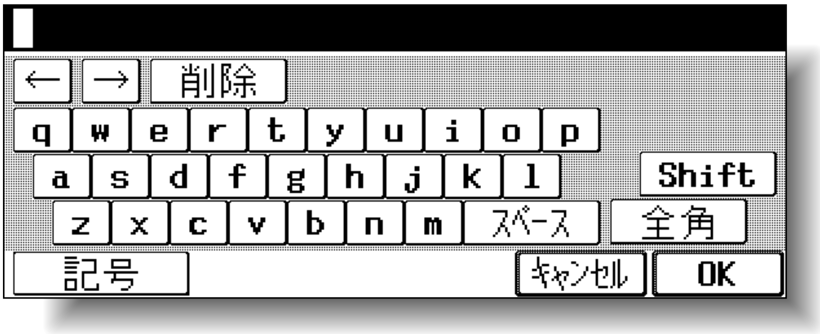
---

1 ［部門名］を押します。



❍ 表示される画面は管理者設定の内容により異なります。

2 表示されるキーボードまたはテンキーから部門名を入力し、[OK] を押します。



詳しく説明します

- [記号]、[英字]、[Shift]、[全角] で表示される文字が切換わります。
- 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。
- 入力を取消すには、[キャンセル] を押します。

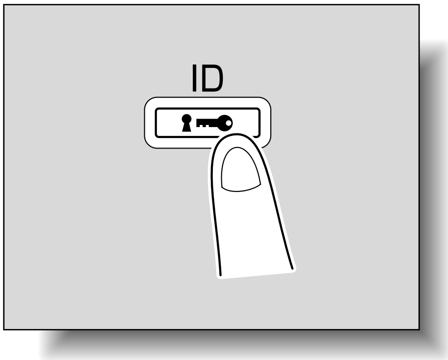
---

3 [パスワード] を押します。



4 表示されるキーボードまたはテンキーからパスワードを入力し、[OK] を押します。

5 操作パネルの【ID】を押します。



基本設定画面が表示されます。

6 目的の操作が終了したら、【ID】を押します。

ログアウト確認画面が表示されます。

7 [はい] を押します。



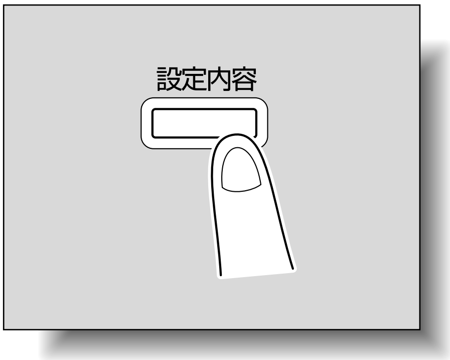
もとの画面にもどります。

❍ 表示される画面は管理者設定の内容により異なります。

設定確認画面で、現在設定されている条件の確認ができます。
また、コピー条件の変更やスキャン／ファクスの宛先の削除も行うことができます。

■ 設定の確認のしかた

1 【設定内容】を押します。



設定確認画面が表示されます。

2 設定内容の確認をします。

❍ コピー機能を使用している場合：
［前画面］を押すと 1 つ前の画面に、［次画面］を押すと次の画面に切換わります。出荷時設定から設定を変更した機能は、反転表示されます。
設定を変更するときは、変更する機能のキーを押し、各機能の設定方法にしたがい設定を変更します。



❍ スキャナ機能を使用している場合：
登録されている送信宛先の一覧から目的の設定を選択します。不要な送信先を消去するときは、目的の設定を選択し、[削除] を押し確認画面で [はい] を押します。



条件を確認するときは、目的の設定を選択し、[詳細] を押します。宛先を確認するときは詳細画面で [宛先] を押します。



❍ ファクス機能を使用している場合：
登録されている送信宛先の一覧から目的の設定を選択します。不要な送信先を消去するときは、目的の設定を選択し、[削除] を押し確認画面で [はい] を押します。



条件を確認するときは、目的の設定を選択し、［詳細］を押します。宛先を確認するときは詳細画面で［宛先］を押します。



3 設定内容の確認が終了したら、［終了］または【設定内容】を押します。

5

5.3 コピーの仕上りを確認する（確認コピー）

コピー機能使用時に大量のコピーを行うとき、先に 1 部だけプリントして仕上がりを確認できます。ミスコピーの発生を未然に防ぐことができます。

🔍 詳しく説明します

- 確認コピーは、グループと同時に設定できません。

1 原稿をセットします。

❍ 原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 1-9）をごらんください。

2 目的のコピー条件を設定します。

3 【確認コピー】を押します。

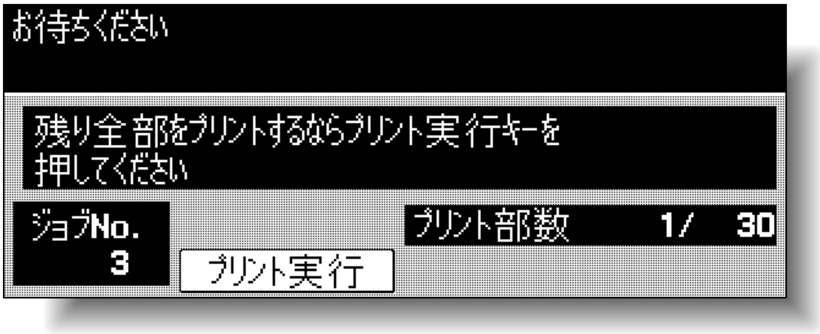


1 部プリントされます。

4 コピー結果を確認します。

❍ コピー条件の設定を変更するときは、【リセット】または【クリア】を押して設定しなおしてください。

5 ［プリント実行］を押します。



残り部数がジョブとして登録されます。

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店　連絡先》

販売店名 ______

電話番号 ______

担当部門 ______

担当者 ______

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL ______

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-510010（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）

● 本文には古紙配合率100%の再生紙を使用しています。 R100

KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

57AA97393G

Printed in China
2007. 1